



# 防災・減災

## お役立ちガイドブック

# 2020

自分の命は自分で守る。  
自分たちの地域は自分たちで守る。



田原市





【提供元】宮城県南三陸町

1	過去の地震被害	1
2	田原市で発生が心配される地震	2
3	突然地震が起きたら	4
4	あなたの家は大丈夫？	6
5	日頃の備え 家具の転倒を防ぐには	10
6	地震による津波の発生	12
7	田原市の推定震度分布図	14
8	田原市の推定液状化危険度分布図	15
9	田原市の津波災害警戒区域	16
10	田原市の推定津波高と推定津波到達時間	22
11	大雨について	24
12	台風について	25
13	土砂災害から身を守るには	26
14	特別警報について	28
15	災害用伝言サービス	29
16	ライフラインの復旧	30
17	緊急地震速報	30
18	田原市安心安全ほっとメールの登録	31
19	非常持出品 備蓄品を備えよう	32
20	災害に備えよう	35
21	日頃の備え 火災予防対策	36
22	日頃の備え 自主防災会活動に参加しよう	38
23	避難行動について	39
24	あなたの避難場所はどこですか？	40
25	心肺蘇生と応急手当	44
26	災害時要配慮者への心くばり	47
27	帰宅困難者への支援	48
28	分散避難	49
29	マイ・タイムラインを作ろう	50
30	避難所利用者登録票への事前記入・指定避難所等への持参	53

# CONTENTS

## 目次

# 1

## 過去の地震被害

### ◎田原市に被害を及ぼした過去の地震

日本やその周辺海域では、毎日どこかで地震が発生しています。過去を振り返ってみると、昭和東南海地震や三河地震のように、大きな被害をもたらした地震も少なくありません。



1944年 昭和東南海地震後の田原市街地と思われる貴重な写真(愛知県公文書館蔵)



船倉橋付近の写真

既往地震				田原市における地震の状況		
地震名	発生年月日	震源地	マグニチュード	震度	津波の高さ(m)	市内の被害状況
*明応地震	1498. 9.20	遠州灘	8.3	6	田原 3~4	*解説を参照
天正地震	1586. 1.18	伊勢湾北部	7.8	5~6		幾多内から東海道にかけての地震 余震も長く続いていたという
慶長地震	1605. 2. 3	遠州灘	7.9	6	田原 2~3	関東以西に波及した地震で、海嘯(潮津波)を伴ったとされる
*宝永地震	1707.10.28	遠州灘	8.6	6~7	田原 4~5 豊橋市 6~7 城下	田原領家屋全壊1400、半壊150 野田郷(215戸中)全壊129、半壊86 汐川の堤防崩壊。海新田の堤防破壊
*安政東海地震	1854.12.23	遠州灘	8.4	6	田原 3~4 波瀬 3~4 赤羽根 6~10 池尻 渥美 3~4 宇津江	田原家屋倒壊多し 田原城中の住居残らず大破 田原城大破 津波により、橋・堤に損傷
濃尾地震	1891.10.28	岐阜県西部	8.0	6		岐阜県で発生した内陸直下型地震。渥美郡全体で死者3、 負傷者4の被害が記録されている
*昭和東南海地震	1944.12. 7	遠州灘西部	7.9	5~6	0.5	旧田原町で死者2、負傷者1、全壊55、半壊224。旧赤羽根 村で死者3、全壊62、半壊214。旧野田村で全壊23、半壊 60。旧福江町で死者1、負傷者1、全壊155、半壊336。旧泉 村で負傷者1、全壊45、半壊12。田地や埋立地で泥水噴出
*三河地震	1945. 1.13	三河湾	6.8	5~6	0.2~0.3	田原で全壊12、半壊122 谷熊で半壊10

【参考資料】田原町史・赤羽根町史・渥美町史・愛知県防災会議資料

### 解説

**【明応地震】** 伊勢から伊豆の東海道諸国を震撼させた大地震。渥美で地割れ、大津波などがあり、倒壊家屋、死者もあったという。

**【宝永地震】** 東海沖、南海沖で同時発生。わが国最大の地震の一つで、北海道を除く日本全域に震動が及んでいる。田原城が損壊したほか、野田村、池尻川周辺の村に甚大な被害。大津波の発生で、海沿いの住民は山へ逃げ、赤羽根地域では多くの漁船が流損したと記録されている。

**【安政東海地震】** 東海沖で発生したこの地震は、宝永地震につぐ国内最大級のもの。翌日には紀伊半島沖で南海地震も発生している。田原城が損壊したほか、倒壊家屋が多数発生したが、幸い火災はなかった。太平洋岸のほうべ(崖)も大きく崩れた。大平洋岸、三河湾とも大津波が襲った。

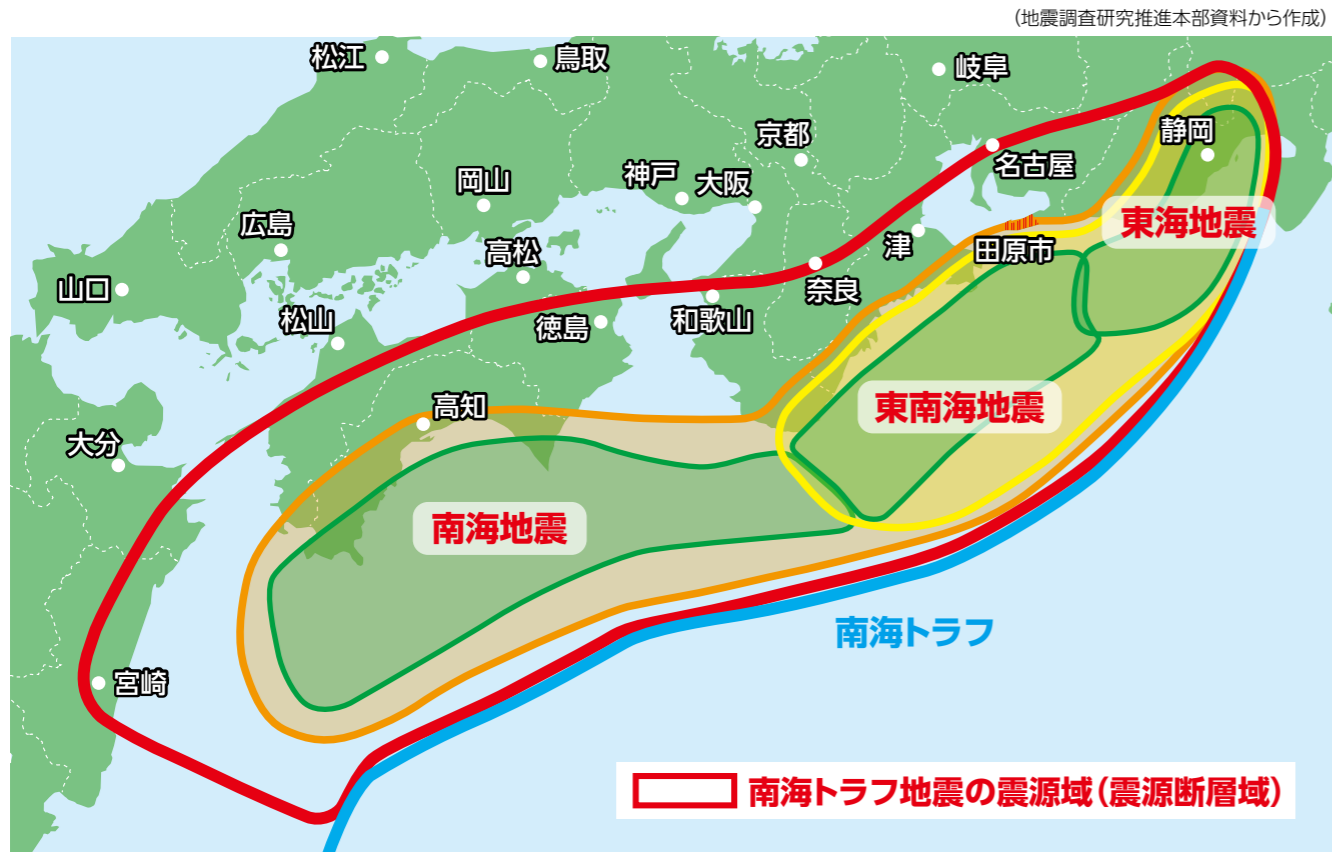
**【昭和東南海地震】** 旧田原町で2名、旧赤羽根村で3名、旧福江町で1名の尊い命を奪った大地震。田原では柳町南側や旭町西側(萱町地区)で全倒壊する家屋が多く、久美原の集落も半分以上倒壊したと記録されている。また、各所で泥水が噴出する液状化現象が見られた。

**【三河地震】** 昭和東南海地震のわずか1か月後に発生した三河湾を震源地とする内陸型の地震。家屋の全倒壊など多くの被害を及ぼし、余震も長く続き、1か月近く、野外の小屋で寝起きたと記録されている。



# 田原市で発生が心配される地震

- 1 東海地震：M8.0
- 2 東南海地震：M8.1
- 3 南海地震：M8.4
- 4 東海・東南海地震：M8.3
- 5 東海・東南海・南海地震：M8.7(津波はM8.8)
- 6 南海トラフ地震：M9.0(津波はM9.1) 今後30年の発生確率70%~80%(平成30年1月1日現在)



## ◎「南海トラフ地震臨時情報」について

気象庁では、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合等に、「南海トラフ地震臨時情報」や「南海トラフ地震関連解説情報」を公表します。これらの情報は、気象庁ホームページからご覧いただけます。

情報名	キーワード	情報発表条件
南海トラフ地震臨時情報 ※防災対応がとりやすいようキーワードを付けて情報発表します	(調査中)	観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか <b>調査を開始した場合</b> 、または調査を継続している場合
	(巨大地震警戒)	<b>巨大地震の発生に警戒が必要な場合</b> ※南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生したと評価した場合 ※津波の危険性が高い地域などに、一週間避難を呼びかける
	(巨大地震注意)	<b>巨大地震の発生に注意が必要な場合</b> ※南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM7.0以上M8.0未満の地震や通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合等
	(調査終了)	(巨大地震警戒)、(巨大地震注意)のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合
南海トラフ地震関連解説情報		○観測された異常な現象の調査結果を発表した後の <b>状況の推移等を発表する場合</b> ○「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合(ただし臨時情報を発表する場合を除く)

## ■震度階級ごとの被害の様相(気象庁震度階級関連解説表)

震度は、地震動の強さの程度を表すもので、計測震度計を用いて観測します。この表は、ある震度が計測された場合、その周辺で実際にどのような現象や被害が発生するかを示すものです。

屋内及び家屋などの被害状況のめやす			
震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	木造建物(住宅)
5弱	大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	耐震性の低い木造建物の場合、壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。
5強	大半の人が、物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類、書棚の本で落ちるものが増える。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	耐震性の低い木造建物の場合、壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	耐震性の低い木造建物の場合、壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。耐震性の高い建物でも、壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。
6強	立っていることができず、這わないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	耐震性の低い木造建物の場合、壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが増える。傾くものや、倒れるものが増える。耐震性の高い木造建物でも、壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。
7		固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	耐震性の低い木造建物の場合、傾くものや、倒れるものがさらに増える。耐震性の高い建物でも、壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。まれに傾くことがある。

用  
語

### マグニチュード(M)と震度

「マグニチュード」とは地震そのもののエネルギーの大きさを表し、「震度」とはある地点における地震の揺れの激しさを表します。

電球でいいかえると、20ワットとか100ワットのように表される電球そのものの明るさにあたるのが「マグニチュード」です。一方、どんな電球であっても電球からの距離が遠くなるほど暗くなり、近づけば明るくなります。このように、それぞれの位置における明るさに相当するのが「震度」です。

# 突然地震が起きたら

## 地震だ!

3秒

- 落ち着け!
- 身を守れ!
- 玄関をあける!

1~2分

揺れがおさまったら津波、山・崖崩れの危険が予想される地域はすぐ避難

- 火元を確認!
- 家族は大丈夫か
- 靴を履け!
- 非常持出品

3分

周囲の確認を!

- 隣近所は無事か?
  - 近くの火は?
  - 余震に注意!
- 大声で知らせる! 消火器を使い! バケツリレーだ!

5分

正確な情報をつかめ!

- ラジオをつける!
- デマにまどわされるな!
- 電話はなるべくひかえる!

車避難注意!

### 避難する場合は

子どもを学校などへ迎えに!(学校のルールに従う)

- ガス栓を閉める!
- ブレーカーを切れ!
- 行き先メモを玄関に!
- ブロック塀の倒壊や自販機の転倒、看板やガラスの落下に注意

10分~数時間

- みんなで消火活動!
  - みんなで救出活動!
- 消火・救出が困難な場合は消防署などへ通報! 簡単な手当ては自分で!

~3日

- 生活必需品は備蓄でまかなえ!  
水・食料・ラジオ・懐中電灯・常備薬など
- 市の広報に注意!
- 壊れた家に入るな!
- 無理はやめよう!
- 我慢と助け合い!

### 避難所では3ヶ条

- 自主防災会を中心に!
  - ルールを守れ!
  - 助け合おう!
- 災害時要配慮者に心づかい!(P47参照)

シェイクアウト



①しせいをひくく ②あたまをまもり ③じっとする

### 地震直後

- 激しい揺れは1~2分続きます。あわてて外に飛び出したりせず、冷静に行動を。
- 地震発生直後は、わが身の安全確保を。
- 火災が発生してもあわてず初期消火。
- 危険予想地域では、速やかに安全な場所に避難。
- 津波はあっという間にやって来る。

3分~5分

- 家族の次は隣近所! 近所に火の手は? 消火活動はみんなに呼びかけ、みんなで協力を!
- 大地震の後は余震が発生します。気を抜かず行動を!
- デマが飛び交う時期のため、正確な情報の入手を! 自分が発信する場合は、確認したことだけをありのままに。



### 避難する場合

- 自宅を離れる場合は、メモを分かりやすいところへ。
- 子どもの迎えはあらかじめ決めた方法・場所で。

10分~数時間

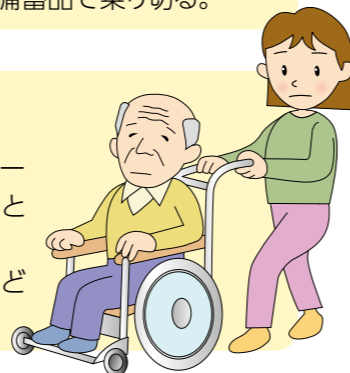
- 万が一閉じ込められたら声や音で居場所を知らせよう。
- けが人の搬送は身近な物を活用しよう。

~3日

- 発災後数日は、物資の援助が期待できない。しばらくは非常持出品や備蓄品で乗り切る。

### 避難所では

- 避難所は共同生活の場。あらかじめ決められたルールを守り、お互いの協力と助け合いの精神で。不自由な方や負傷者などには温かい心づかいを。



## ◎地震発生 そんなときどうする

### 屋内編

#### 集合住宅/エレベーター



- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 避難にエレベーターは絶対使わない。炎と煙に巻き込まれないように気を付け、階段を使って避難する。

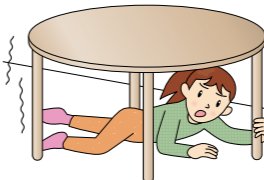
#### デパート・スーパー



- カバンなどで頭を保護し、陳列ケースや商品棚から離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ちついた行動を。

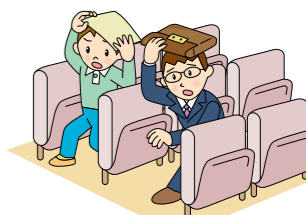
#### 家の中

- 揺れを感じたら、テーブルなどの下に隠れ、身を守る(余裕がなければ、身近の座布団などで頭を保護する)。
- 火元の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。



#### 劇場・ホール

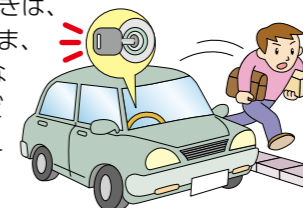
- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠す。係員の指示を聞き、あわてず冷静な行動を。



### 屋外編

#### 車を運転中

- 急ブレーキはかけず、徐々にスピードを落とし、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックはしない。車検証などの貴重品は忘れずに持ち出し、徒歩で避難を。



#### 海岸付近

- 揺れを感じたら、ただちに高台へ避難し、津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

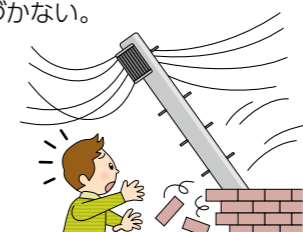


#### 路上



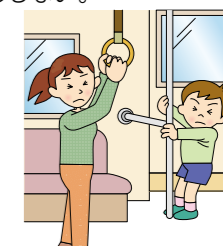
- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。

- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意。
- 近くに空き地などのないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。



#### 電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ちついた行動を。



(愛知県資料から作成)



住宅の耐震診断や耐震改修について補助制度があります。(令和3年4月1日時点)

## 木造住宅無料耐震診断

●現在お住まいの**木造住宅**が**地震に強いかどうか**を、診断員(建築士)が**無料で**診断します。

### 下記の条件を満たすこと

田原市内の  
住宅

現在  
住んでいる

平屋建て  
2階建て

木造軸組  
住宅

昭和56年  
5月以前に  
着工

## 木造住宅耐震改修費補助金

●耐震診断の結果、**地震時に安全でない**と診断された住宅の**改修**を行う場合、補助を受けられます。

### 下記の条件を満たすこと

耐震診断の結果  
1.0未満

### ●補助金の額は？

設計・監理・工事に係る実費  
ただし、  
上限 **140**万円

●耐震改修と並行してリフォーム等を行う場合、**耐震改修に関係ない費用は補助の対象外**となります。

### 耐震改修工事をすると所得税・固定資産税の減税があります。

#### ●確定申告で、所得税を税額控除

上記の改修補助を利用した場合、改修費の10%相当額(上限25万円)が所得税から控除されます。  
※適用期間:令和3年12月31日まで

#### ●固定資産税も減額

令和4年3月31日までに、一定の条件に適合する耐震改修を行った場合、固定資産税が2分の1減額されます。(上限120㎡相当分)

## 簡易耐震対策費補助金

●耐震診断の結果、**地震時に安全でない**と診断された住宅に対し、**住んでいる人が安全になるような対策**をする場合、補助を受けられます。

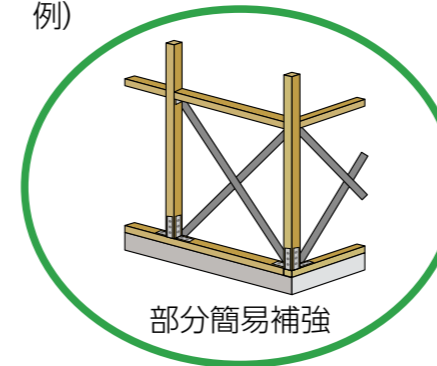
### 下記の条件を満たすこと

耐震診断の結果  
1.0未満

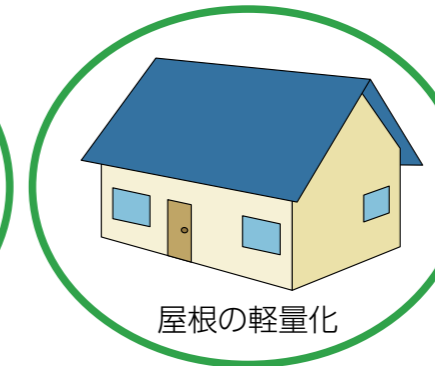
### ●補助金の額は？

実費  
ただし、  
上限 **30**万円

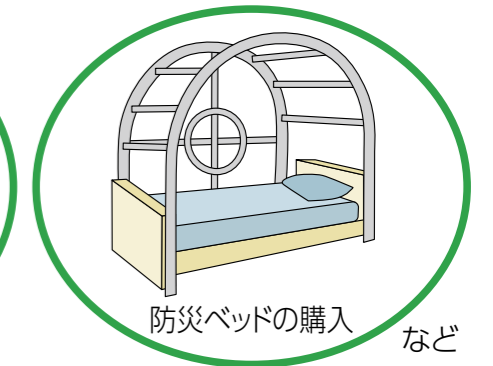
例)



部分簡易補強



屋根の軽量化



防災ベッドの購入

など

●例に挙げた対策以外でも、**地震時に効果のあるものは補助対象**になる場合がありますので、市役所建築課へご相談ください。

## 木造住宅解体費補助金

●耐震診断の結果、**地震時に安全でない**と診断された住宅を**解体**する場合、補助を受けられます。

### 下記の条件を満たすこと

耐震診断の結果  
1.0未満

前年度までに  
耐震診断を  
行ったもの

### ●補助金の額は？

実費の1/2の額  
ただし、  
上限 **10**万円

●耐震診断を行った年度内は、**解体の補助を受けられません**。



## 非木造住宅等耐震診断費補助金

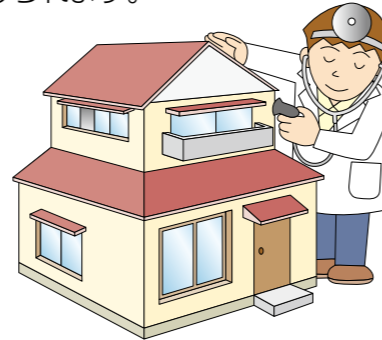
●現在お住まいの**木造以外の住宅等の耐震診断**を行う場合、補助が受けられます。

下記の条件を満たすこと

田原市内の  
住宅等

非木造の  
住宅等

昭和56年5月  
以前に着工



●補助金の額は？（**一戸建て住宅**と**一戸建て以外**で補助金の額が違います）

一戸建て住宅の場合

実費  
ただし、

上限 **30**万円



●住宅以外は、市役所建築課へご相談ください。

一戸建て以外の場合

①②③のうち、一番少ない額

①実費【円】

②延べ床面積【㎡】×下記の額【円】

延べ床面積が1,000㎡未満：3,670円  
1,000～2,000㎡未満：1,570円  
2,000㎡以上：1,050円

③ 上限 **100**万円

## 非木造住宅耐震改修費補助金

●耐震診断の結果、地震時に**安全でない**と診断された住宅の**改修**を行う場合、補助が受けられます。

下記の条件を満たすこと

耐震診断の結果

地震時に**安全でない**と  
診断された**非木造の**  
**一戸建て住宅**

●補助金の額は？

設計・監理・工事に

係る実費

ただし、 上限 **140**万円

## ブロック塀等安全対策費補助金

●地震時に崩れて道路等をふさぐ恐れのある**ブロック塀等**を**撤去・建替**する場合、補助が受けられます。

下記の条件を満たすこと

地震時に  
崩れる危険性  
がある塀

道路か  
避難地に  
面している

高さが  
地面から  
1m以上

**撤去**

または

**建替**

撤去して安全な  
塀にする

●補助金の額は？

（**撤去**と**建替**で補助金の額が違います）

**撤去** の場合

①②③のうち、一番少ない額

①実費の1/2の額

②10,000円×既設ブロック塀の  
全長(m)の1/2の額

③ 上限 **20**万円

**建替** の場合

①②③のうち、一番少ない額

①実費の1/2の額

②40,000円×既設ブロック塀の  
全長(m)の1/2の額

③ 上限 **30**万円

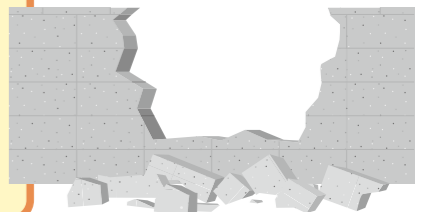
●申請する前に業者と契約をしないでください。

●道等に面している危険なブロック塀等は、すべて撤去してください。

●補助申請をする場合は、必ず事前に市までご相談ください。

●新設する塀は、建築基準法第42条第2項の道路内には築造できません。

●建替を行う場合、新築の塀に対し、建築士等による安全の確認が必要です。  
また、市では建築士等の紹介を行っていません。





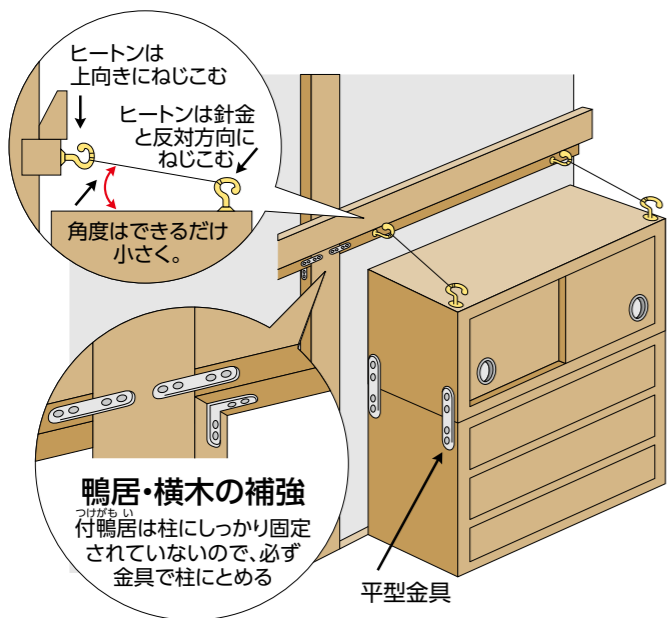
# 日頃の備え 家具の転倒を防ぐには

家の耐震性が十分でも、落下物や転倒した家具、ガラスの破片などにより被害にあうことがあります。災害時に、家の中での被害を少なくするために、家具の固定やガラスの飛散防止対策をしましょう。

## 固定方法 例

背の高い家具は、鴨居(横木)に針金やL型金具でとめる。

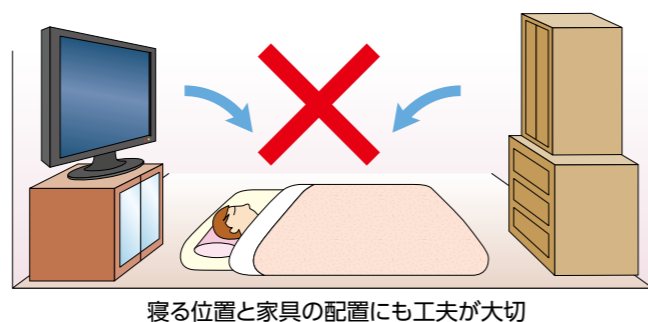
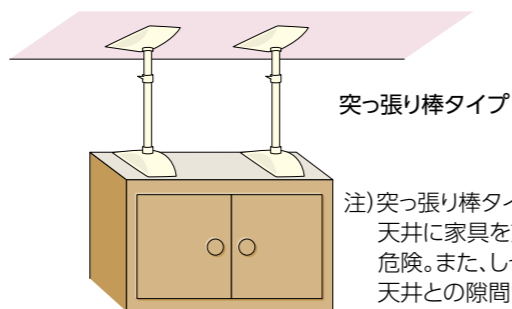
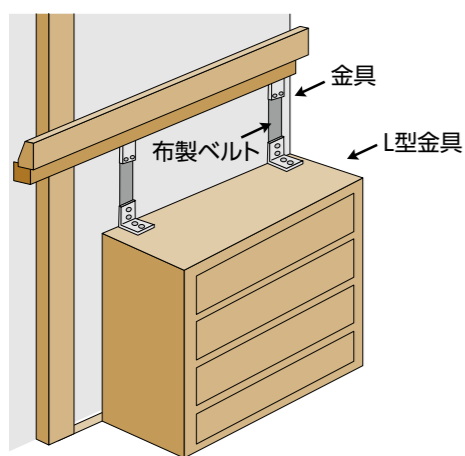
針金でとめる



L型金具でとめる



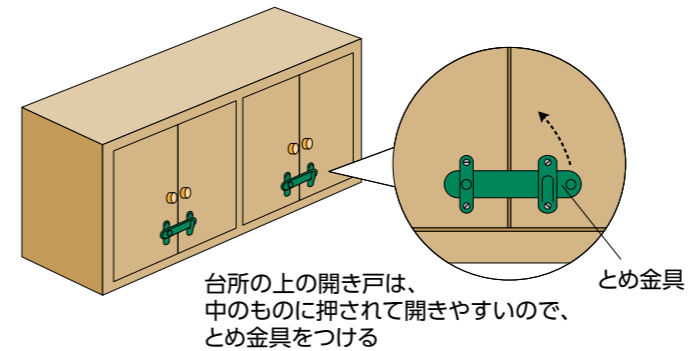
背の低い家具は、鴨居に布製ベルトでとめる。



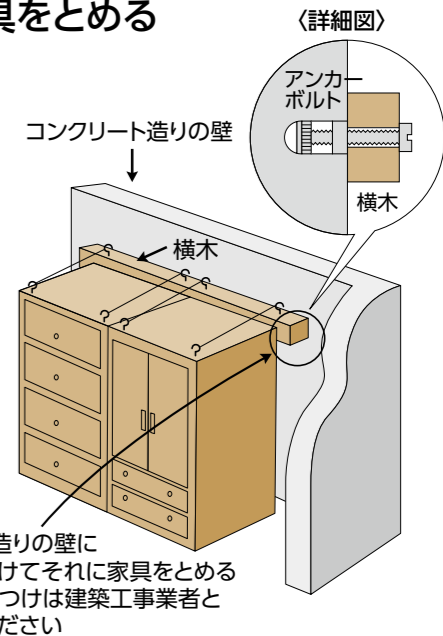
### CHECK 3

- ◎重い家具は寝室に置かない。
- ◎重い荷物は高いところに置かない。
- ◎家具の配置を考えて安全なスペースを確保。

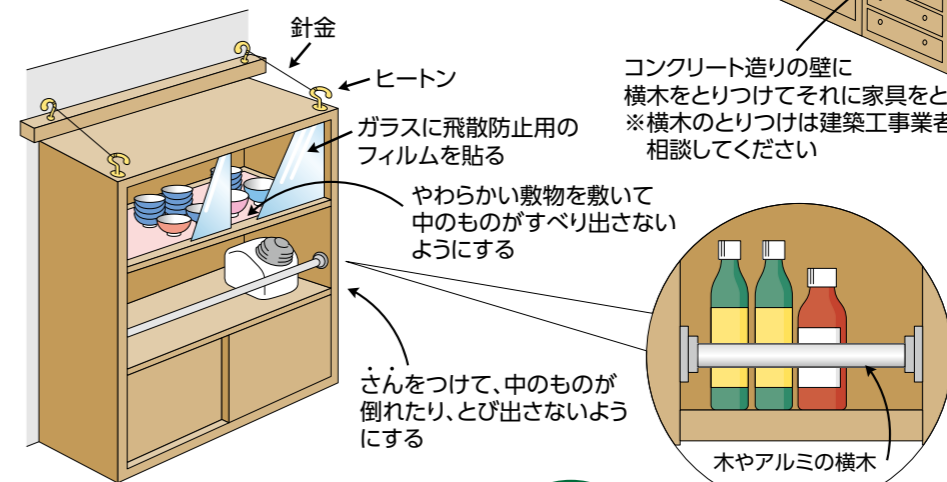
開き戸をとめる



鉄筋コンクリート造りの住宅に家具をとめる

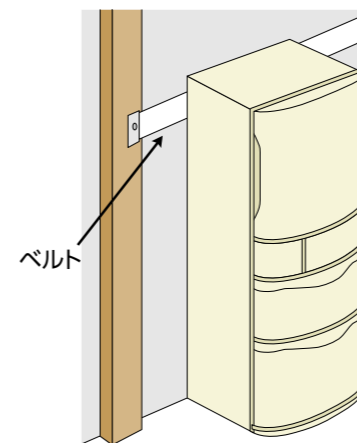


食器戸棚をとめる



冷蔵庫をとめる

冷蔵庫の裏側にある取手(手カケ)に固定用ベルトを通して固定するのが一般的。詳しくは取扱説明書をよく読んでください。分からないことは購入した店やメーカーにお問い合わせください。

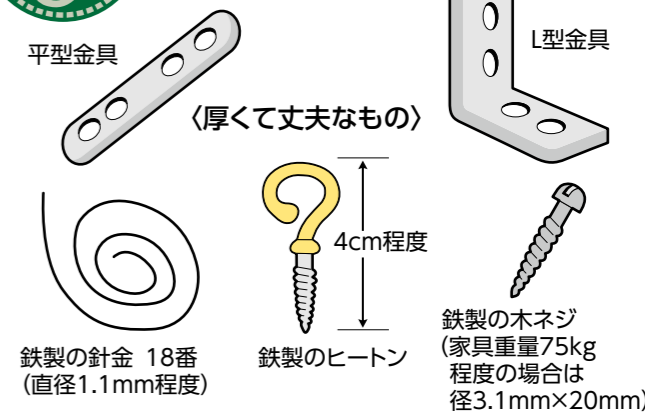


### CHECK 3

柱の見えない壁に家具をとめる場合は、壁をたたいて中の間柱などのあるところをみつけてとめましょう。

### CHECK 3

用意するもの



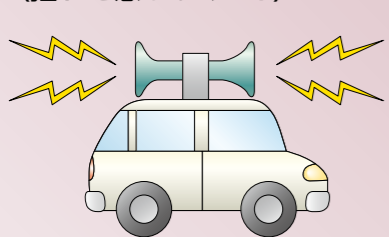


## ◎津波がやってくる!!

海岸や河川、避難対象区域にいる人は、ただちに高台へ避難してください。

**強い地震が起こったら** (弱い地震であっても、長い時間 ゆっくりとした揺れを感じた時にも)

**大津波警報・津波警報が出たら**  
(揺れを感じなくても)



ラジオ・テレビ・市の情報  
(防災無線スピーカー、  
広報車など)に注意!



**ただちに避難!**

海岸や河川、避難対象区域に  
いる人はただちに高台へ逃げる



## ◎津波警報・注意報

	予想される津波の高さ		とるべき行動
	数値での発表	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m超	巨大	ただちに高台などの 安全な場所へ避難(より高く)
	10m		
	5m		
津波警報	3m	高い	
津波注意報	1m	(表記しない)	ただちに海岸付近から離れる

マグニチュード8を超える巨大地震の場合は、正しい地震の規模をすぐには把握できないため、最大級の津波を想定して発表します。最初の発表では、「巨大」、「高い」という言葉を使い、非常事態であることを伝えます。

## ◎津波から身を守る

### 津波の特徴

- 引き波があるとは限らない
- 海が深いほど速く伝わり、浅くなれば遅くなるが波高は高くなる
- 何度も何度も繰り返し押し寄せてくる
- 第一波が最も大きいとは限らない
- 川や水路をさかのぼり溢れる
- 揺れが小さくても大津波が起こることがある
- 地球の反対側からでも伝わってくる



### 津波避難のポイント

- ◆ 強い揺れや弱くても長い時間の揺れを感じたら、ただちに海岸や河川から離れ、高台などの安全な場所に避難
- ◆ 「地震の揺れの大きさ=津波の大きさ」ではない。地震の揺れが小さくても、大津波が起こることがある
- ◆ 津波は繰り返し押し寄せてくる。安全なところに避難したら、警報・注意報が解除されるまで絶対に戻らない

## ◎早期避難と呼びかけの重要性

津波から命を守るためには、地震を感じたらいち早く避難行動をおこすことが重要です。南海トラフ地震による被害想定では、田原市に最も被害が大きい場合の津波による死者数は、防災意識が「低い場合」と「高い場合」では大きな違いがあります。

### 田原市が大きく被災するケースの津波による死者数



※「避難率が高い」とは、各個人が常に高い防災意識を持つことと、逃げる場合には、隣近所に大声を出し、避難を呼びかけながら逃げるなど、普段からの近所付き合いが良好になっている状態を意味します。

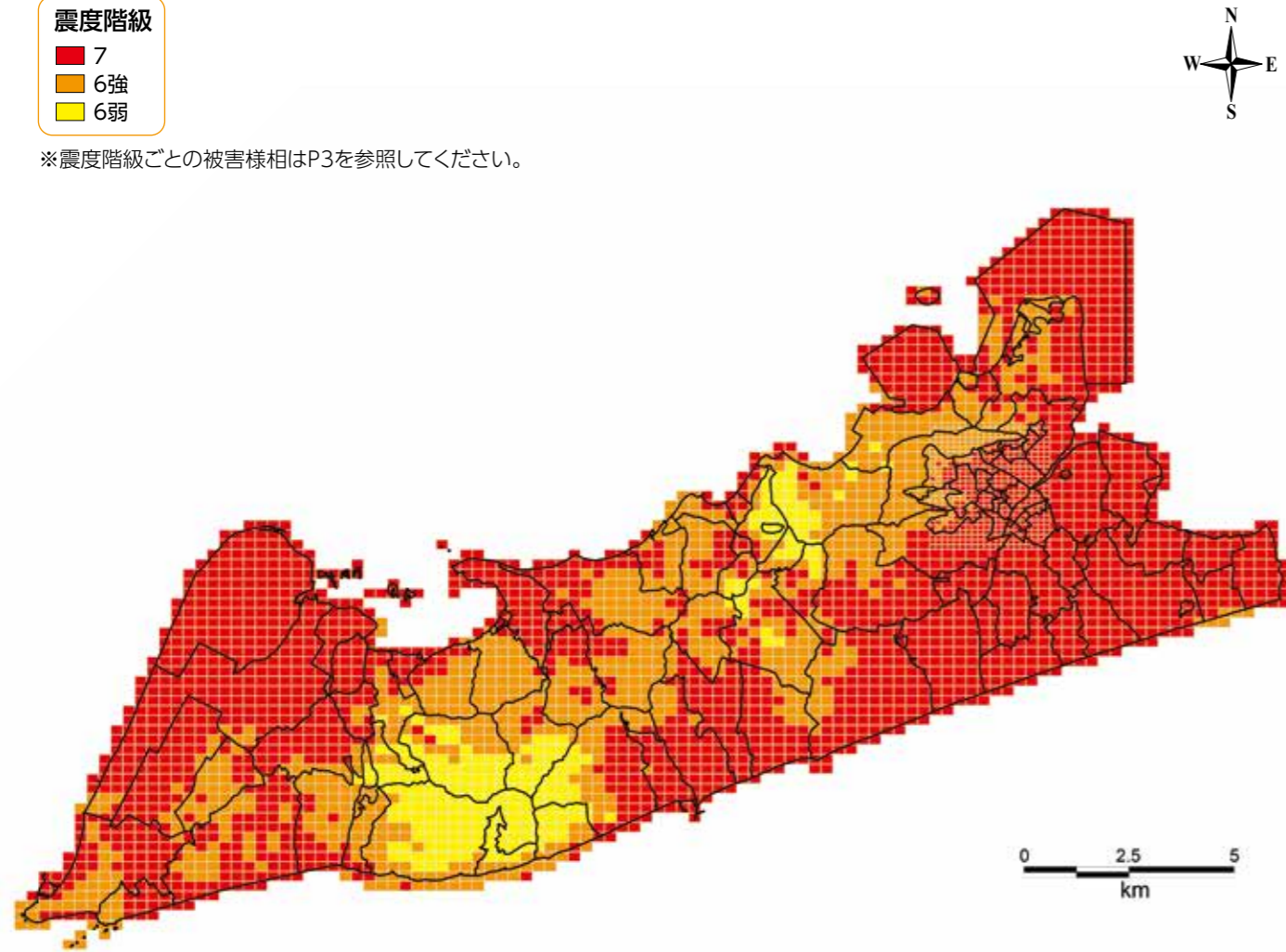
※出典 田原市:平成27年6月公表「田原市南海トラフ地震被害予測調査報告書」

## ◎推定震度分布図(南海トラフ地震)

本図は、平成27年6月に田原市が公表した想定される南海トラフ地震の、田原市に影響の大きい2つのケースにおける震度分布の最大値を重ね合わせたもので、250mメッシュ(田原市街地は125mメッシュ)ごとに算出したものです。

震度階級  
 ■ 7  
 ■ 6強  
 ■ 6弱

※震度階級ごとの被害様相はP3を参照してください。



※出典 田原市:平成27年6月公表「田原市南海トラフ地震被害予測調査報告書」

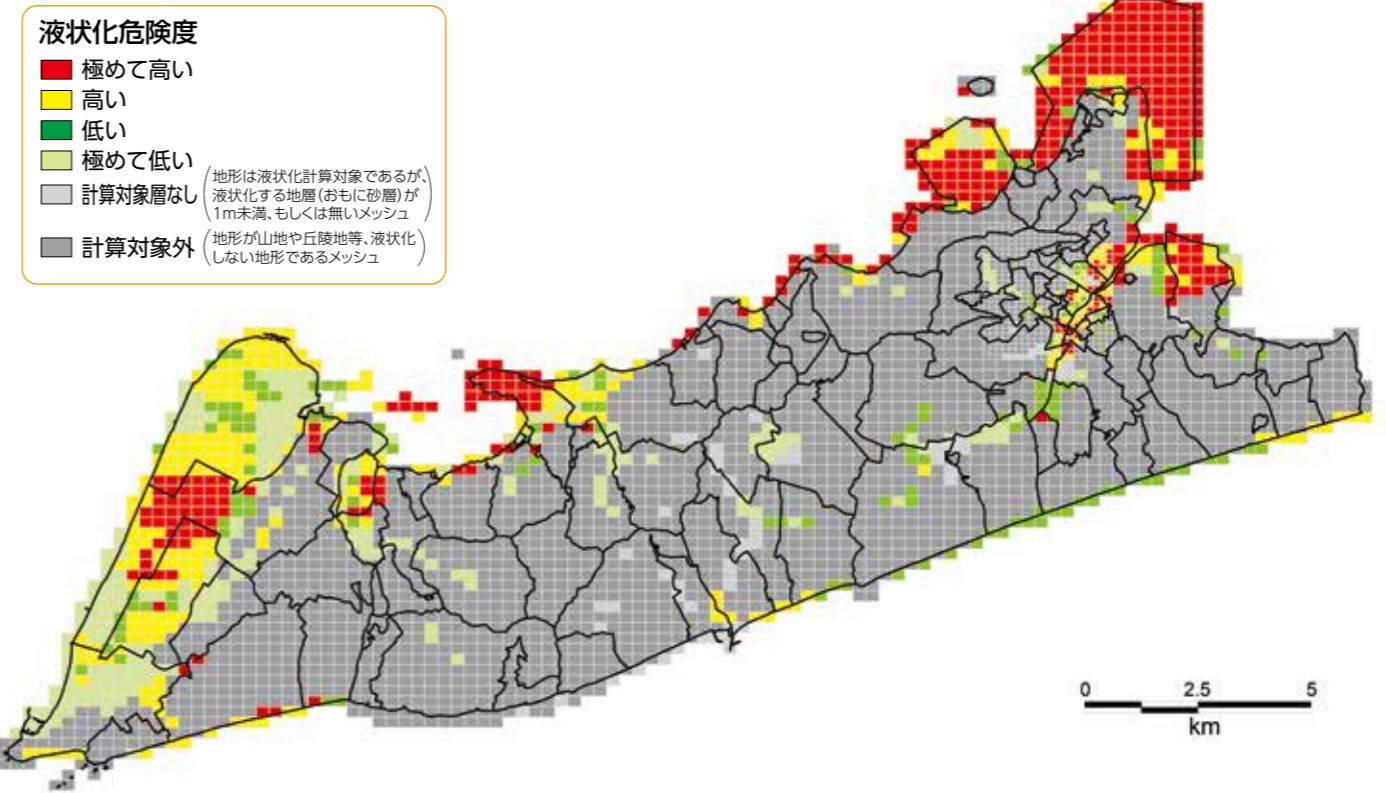
## ◎推定液状化危険度分布図(南海トラフ地震)

本図は、平成27年6月に田原市が公表した想定される南海トラフ地震の、田原市に影響の大きい2つのケースの液状化危険度の最大値を重ね合わせたものを、「道路橋示方書・同解説V耐震設計編(2002)」に示されている方法に従い、PL値を用いて作成したものです。地質ボーリング柱状図資料のない地域は表層地番区分を基に判定しました。

## ■PL値による液状化の判定区分

PL値	液状化危険度判定	PL値	液状化危険度判定
15<PL	液状化危険度が極めて高い	0<PL≤5	液状化危険度は低い
5<PL≤15	液状化危険度が高い	PL=0	液状化危険度は極めて低い

注) PL値とは、地盤を構成する地下の地層毎の液状化抵抗率(FI)を基に算出した地盤全体の抵抗力

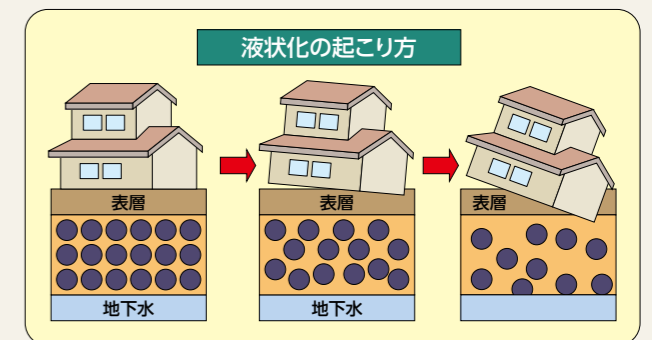


※出典 田原市:平成27年6月公表「田原市南海トラフ地震被害予測調査報告書」

## 用語

## 液状化とは?

水分を多く含んだ砂の層などのやわらかい地盤が、地震などで揺れると液状化になり、建物の沈み込みや、地面からの泥水・砂のふき出し、地中のガス管などのうきあがりなどの現象が起こります。





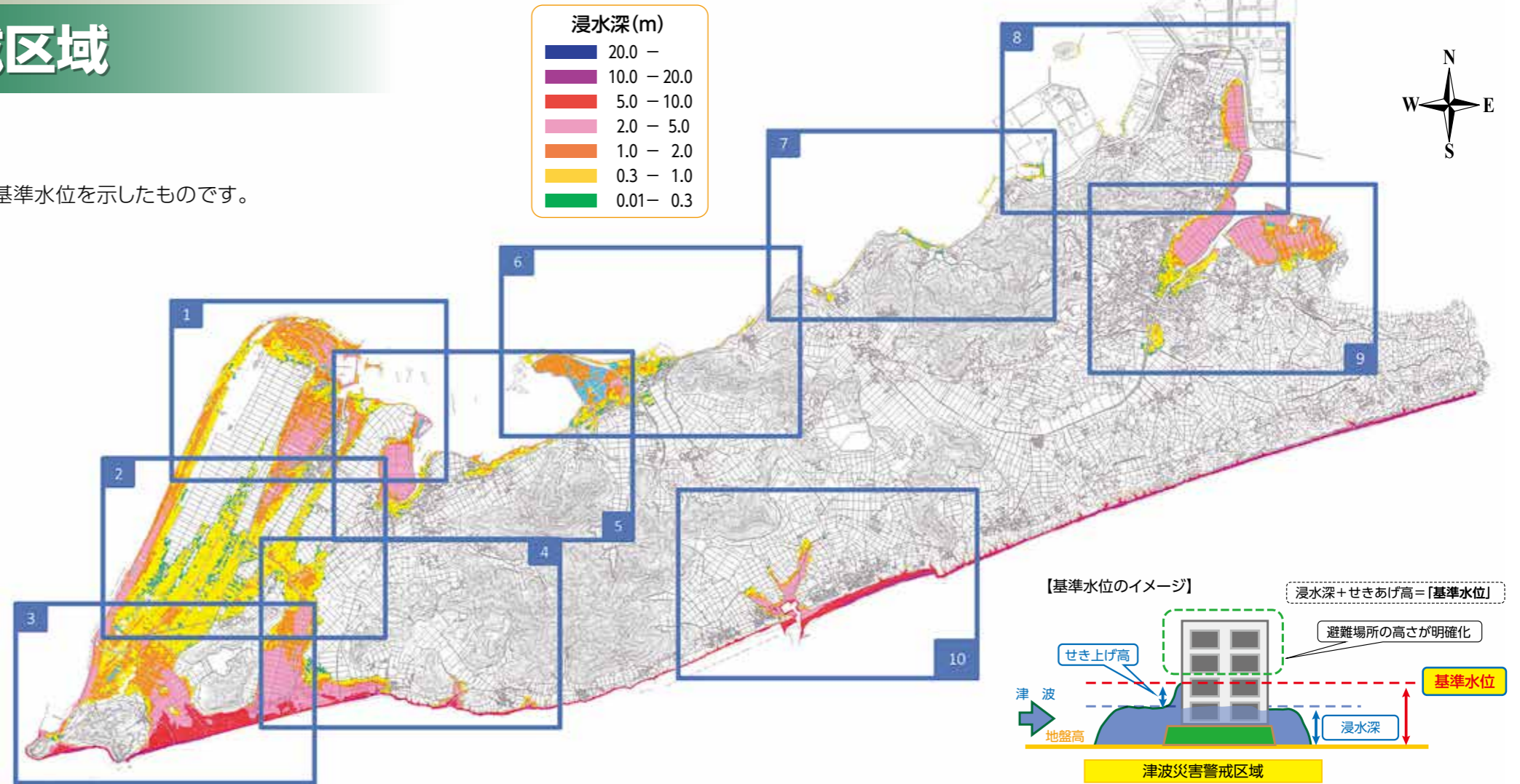
## ◎津波災害警戒区域(南海トラフ地震)

令和元年7月30日に愛知県知事が指定した津波災害警戒区域における基準水位を示したものです。

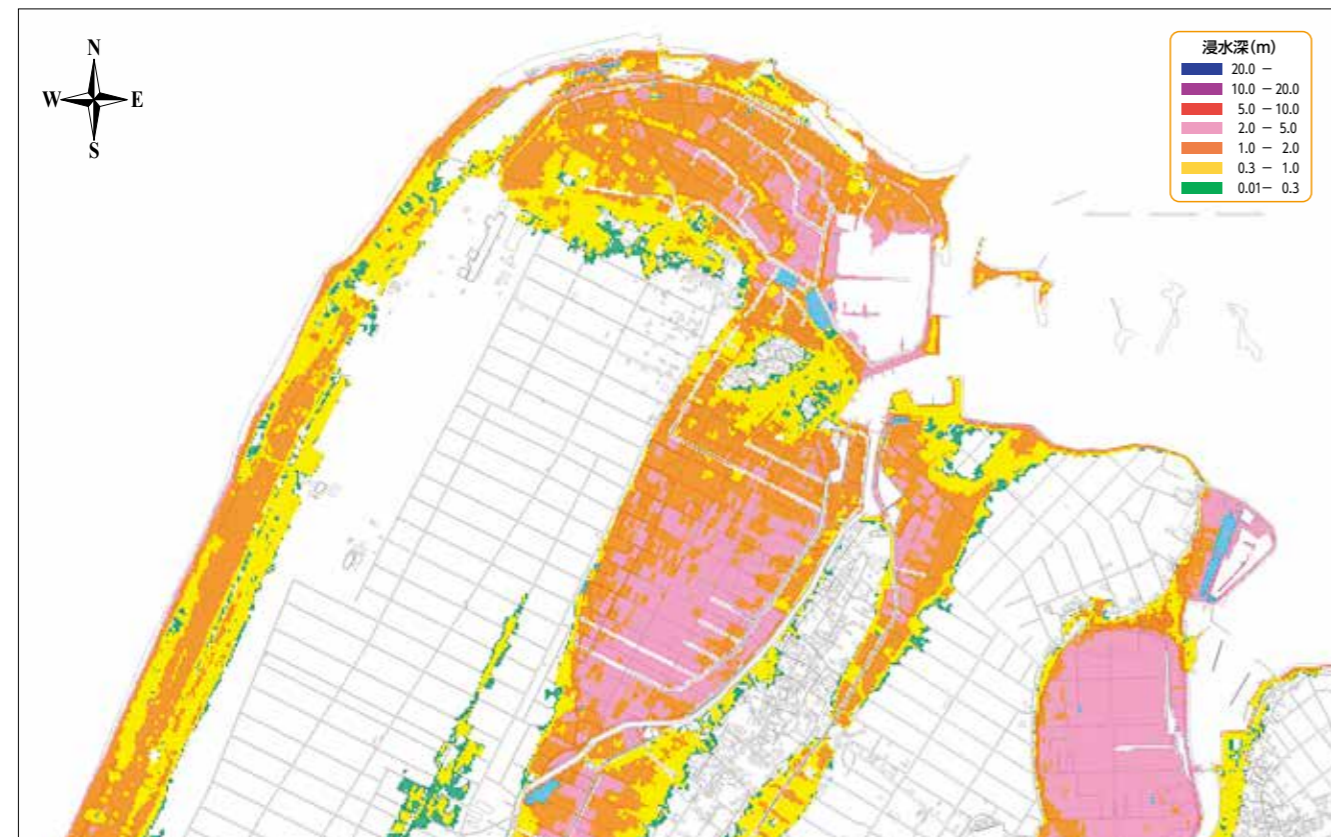
### 基準水位の計算に用いられた主な条件

対象地震	内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」公表(H24.8.29)の想定地震津波
初期潮位	三河港 T.P.+1.0m
盛土構造物(土堰堤)	75%沈下し、越流したら破堤するとしています。
護岸(コンクリート構造物)	倒壊を基本とするが、前面埋め立て地護岸(二線堤)として設定した構造物は、75%沈下としています。
防波堤(漁港・港湾)	倒壊としています。
道路・鉄道	地形として取り扱っています。(広域的な地盤沈降量を考慮)
水門・陸閘	常時閉鎖の施設は閉条件とし、これ以外は開放としています。
建築物	建物の代わりに津波が遡上する時の粗度(津波が侵入するときに阻害される度合)を設定しています。

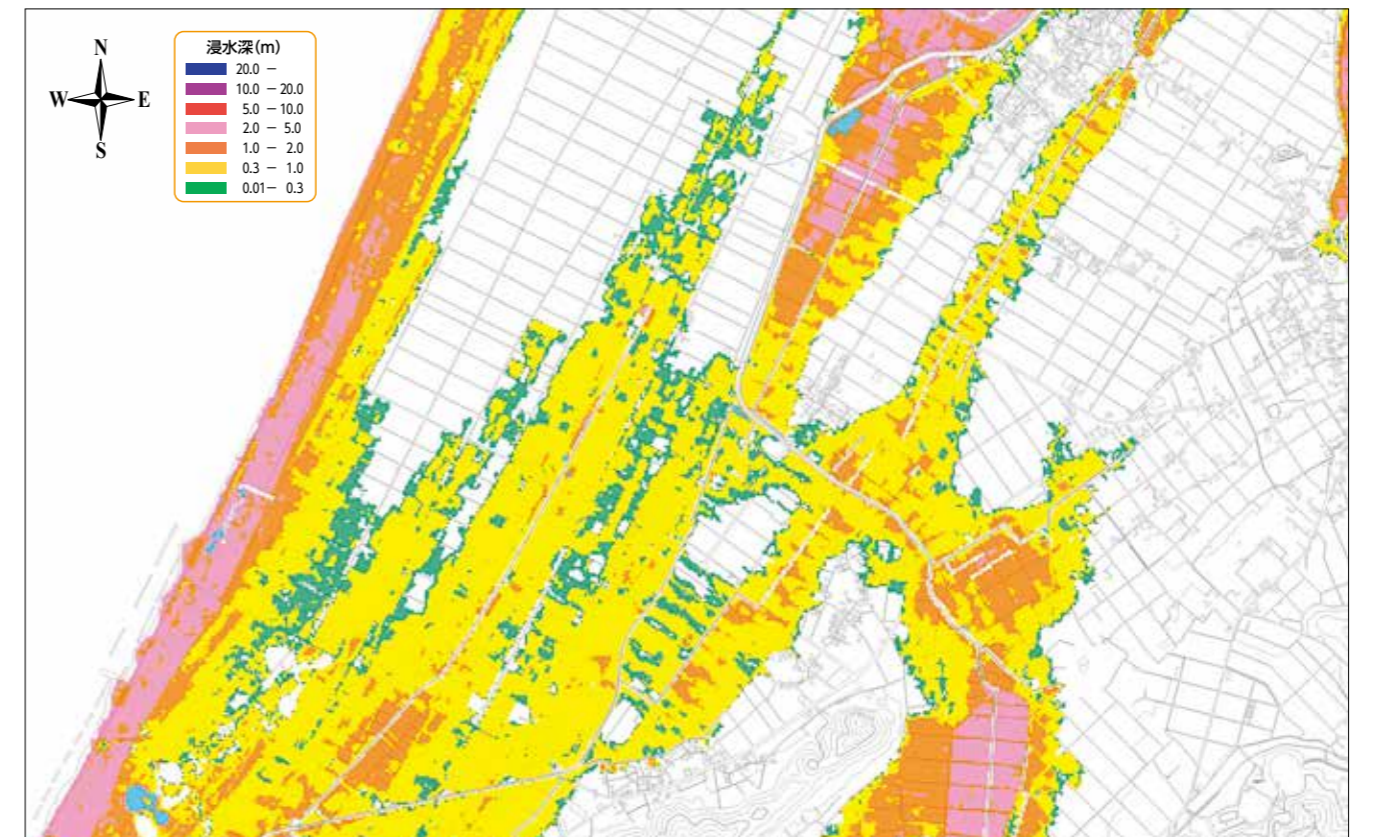
(※愛知県公表「津波浸水想定について」より抜粋)



### 1. 詳細図

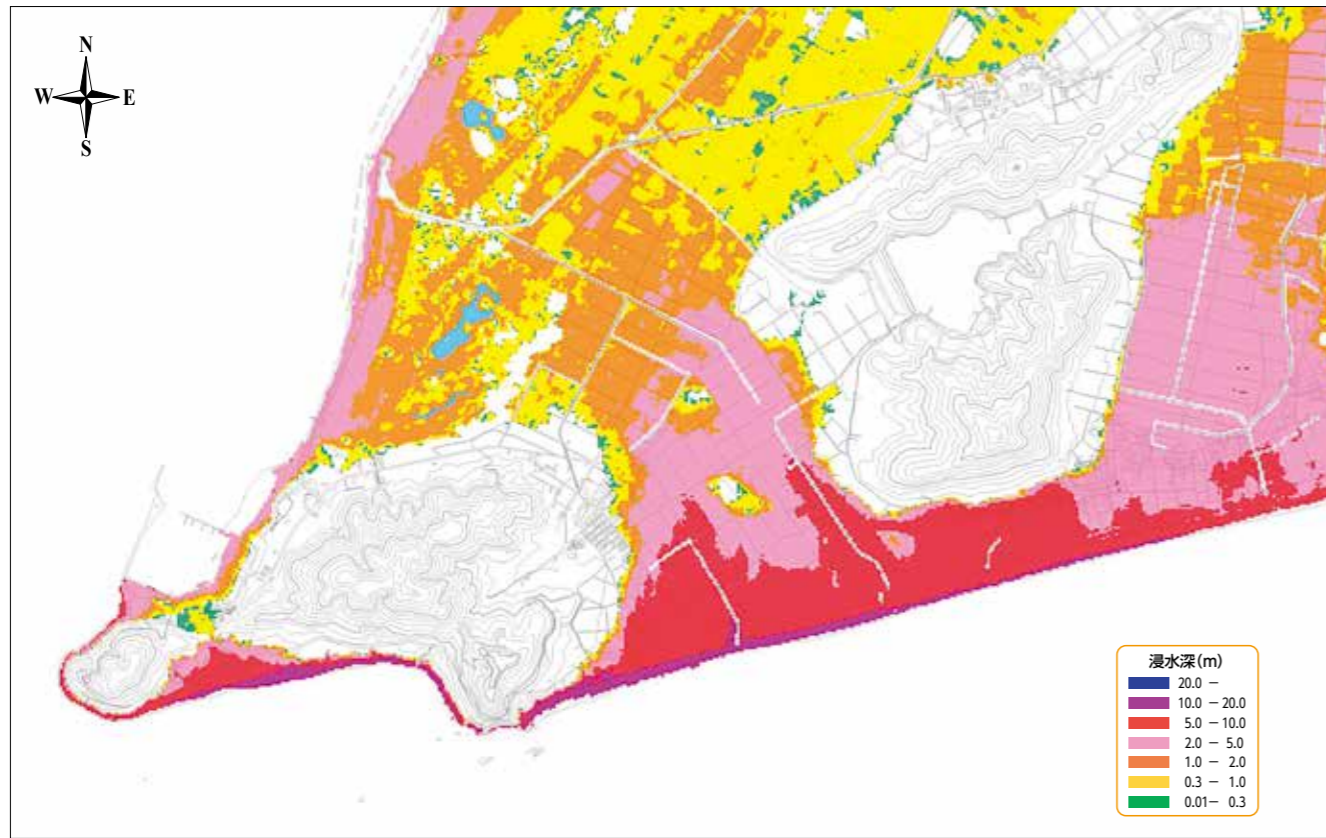


### 2. 詳細図

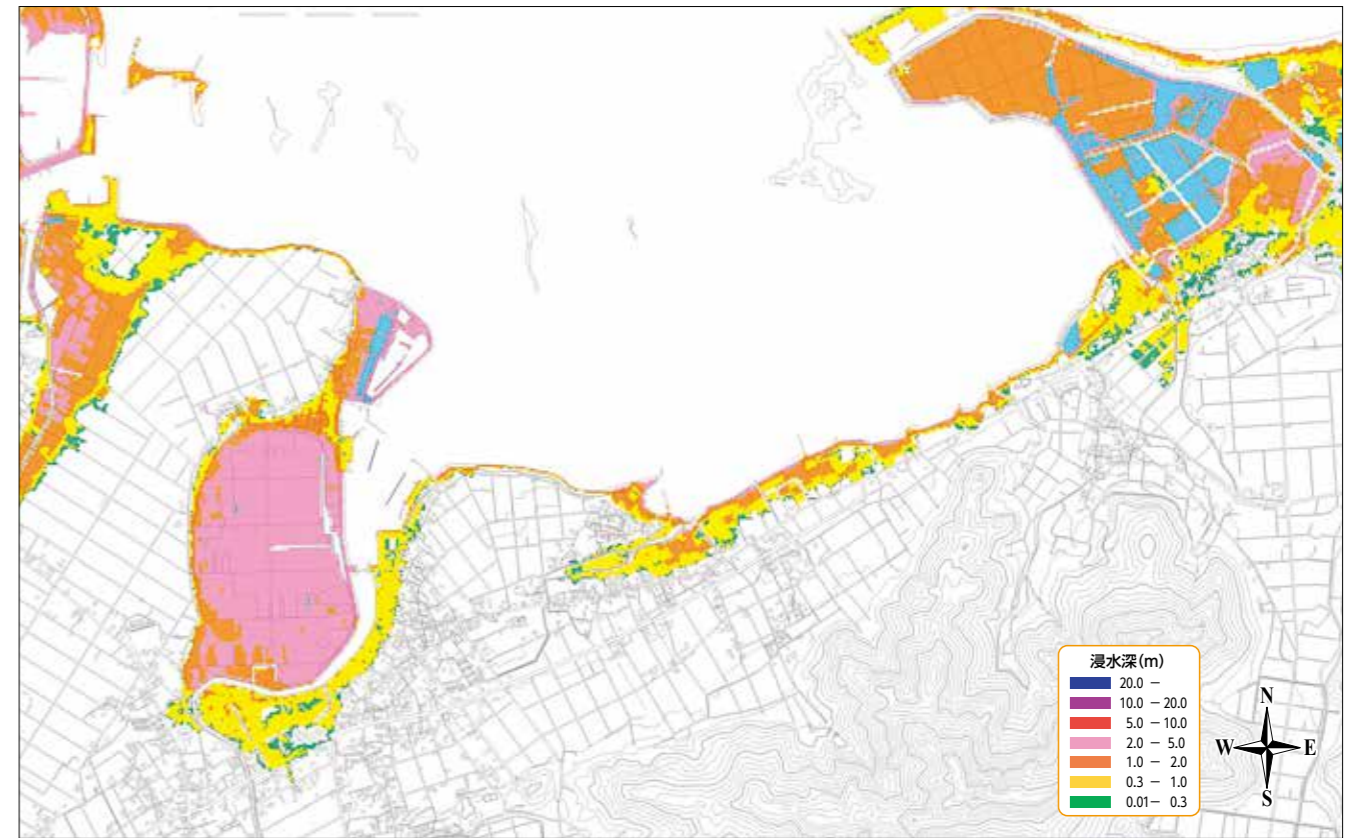




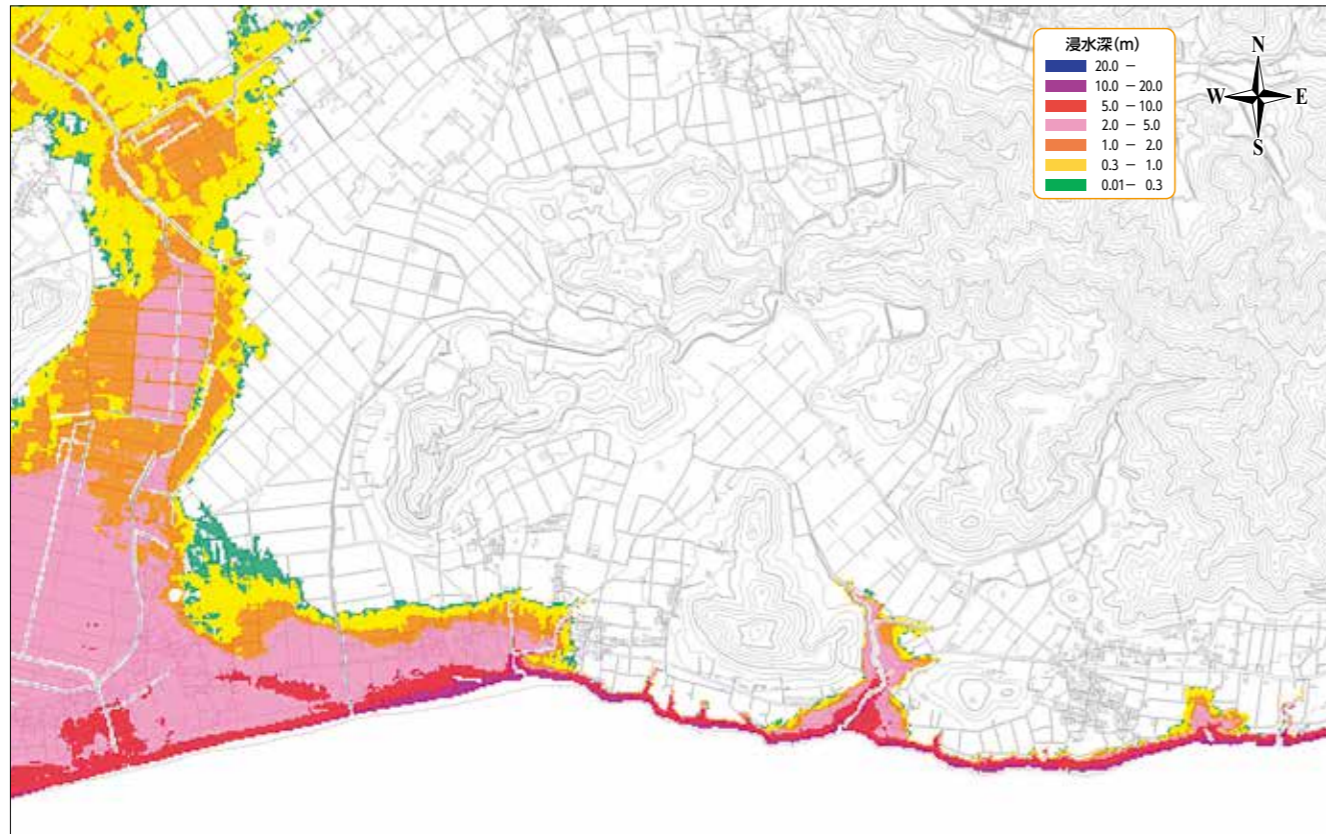
### 3. 詳細図



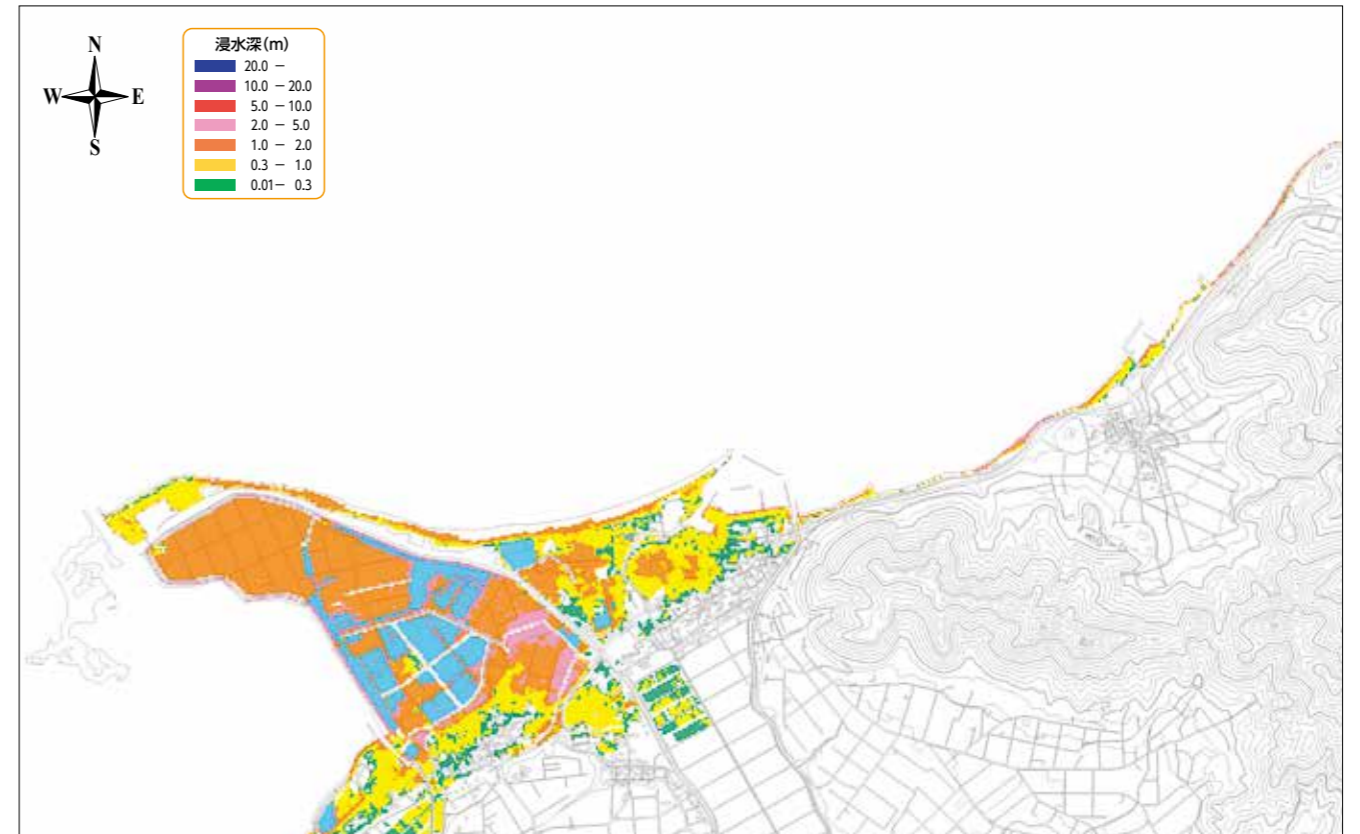
### 5. 詳細図



### 4. 詳細図

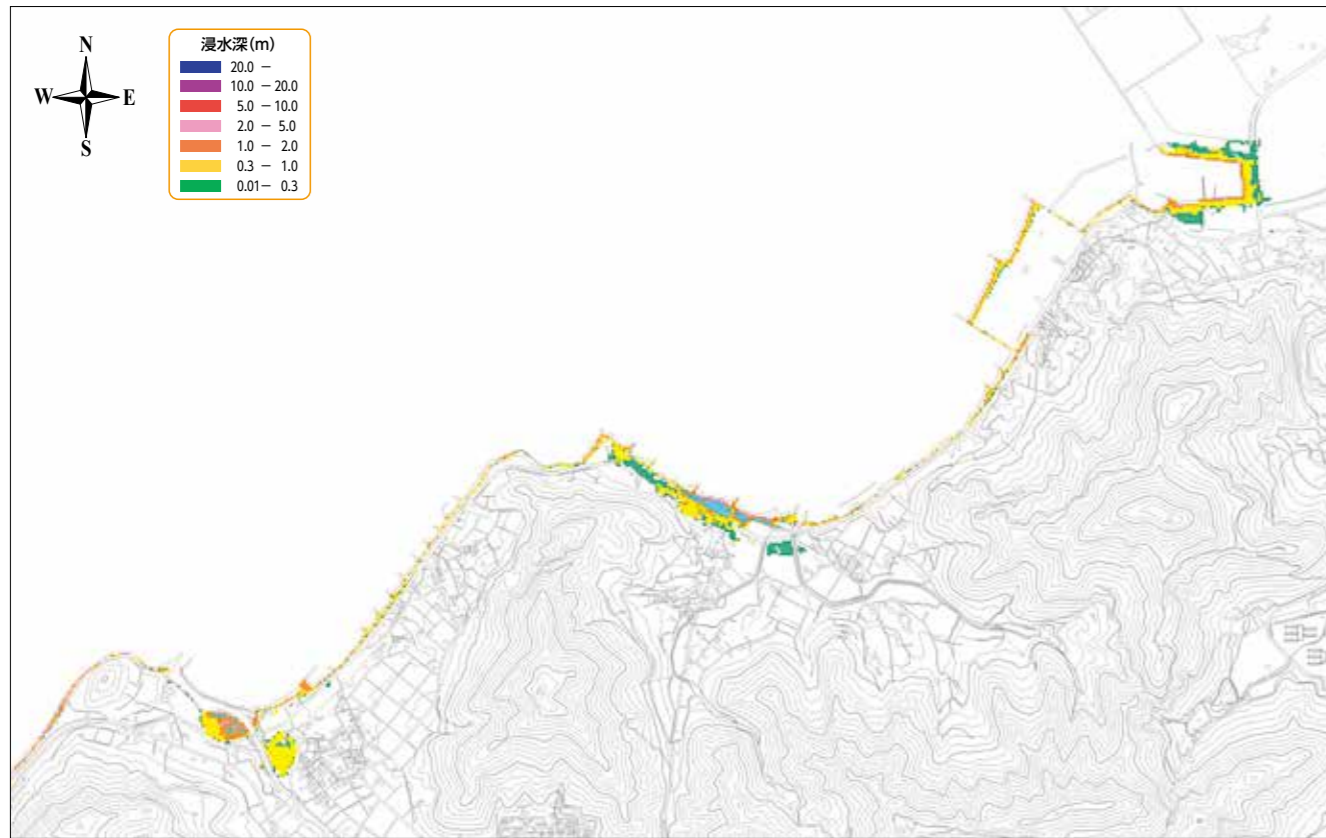


### 6. 詳細図

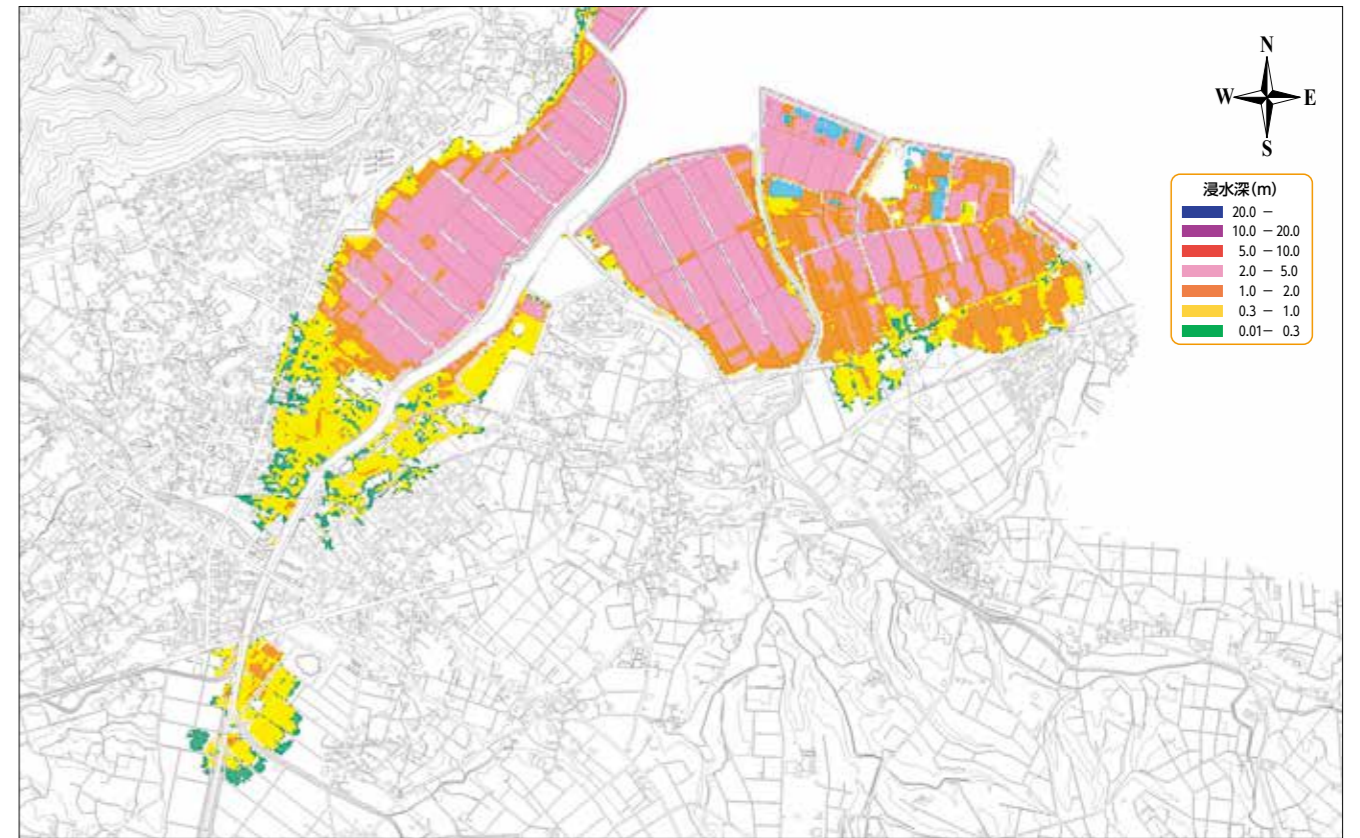




7. 詳細図



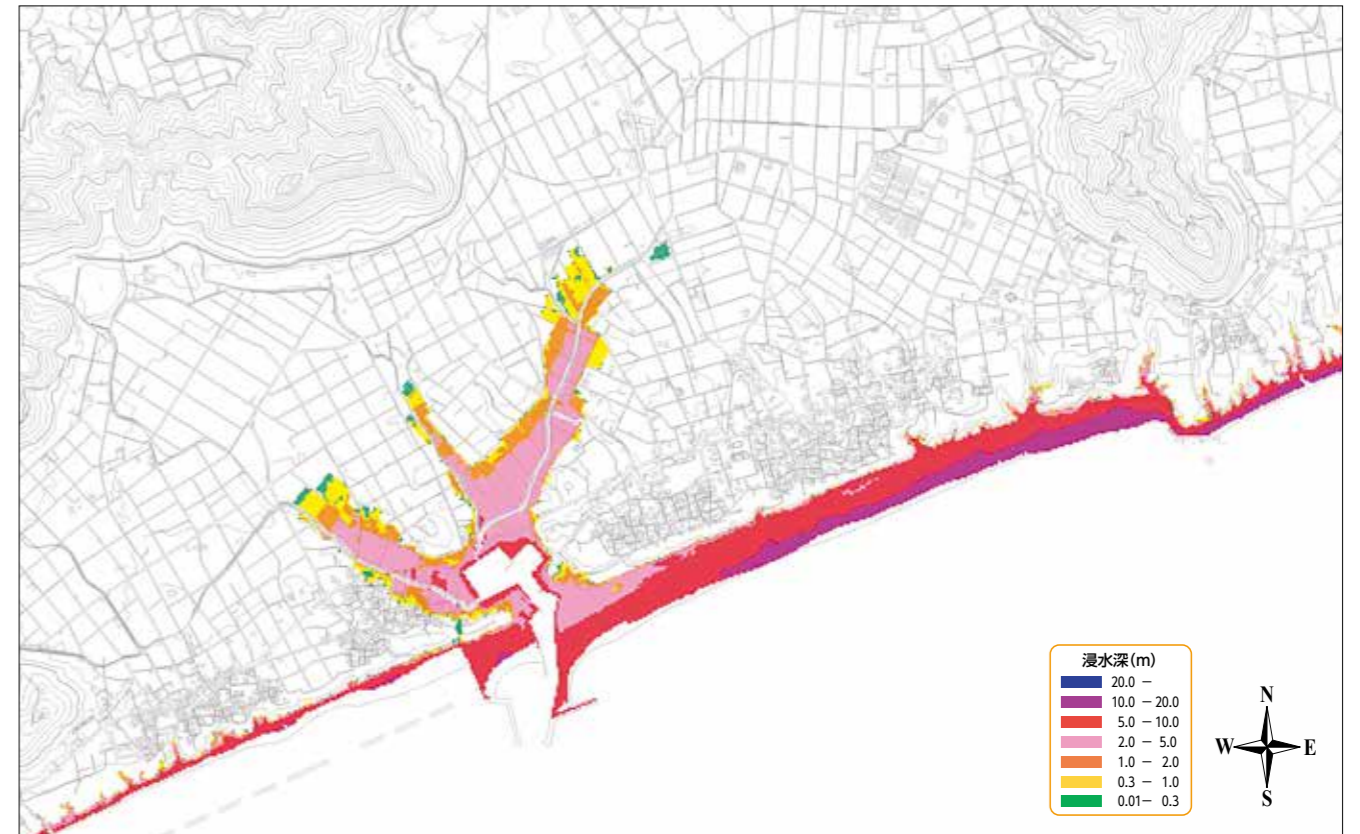
9. 詳細図



8. 詳細図



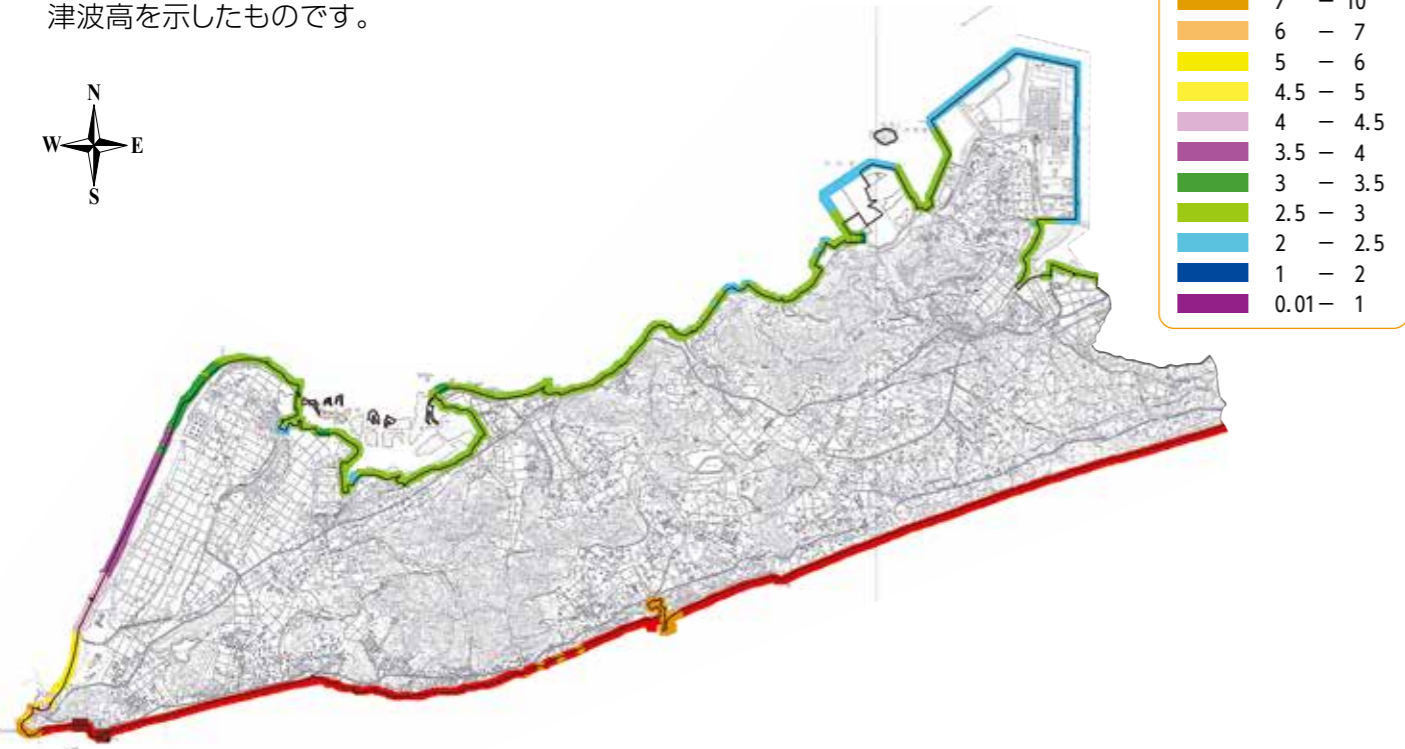
10. 詳細図





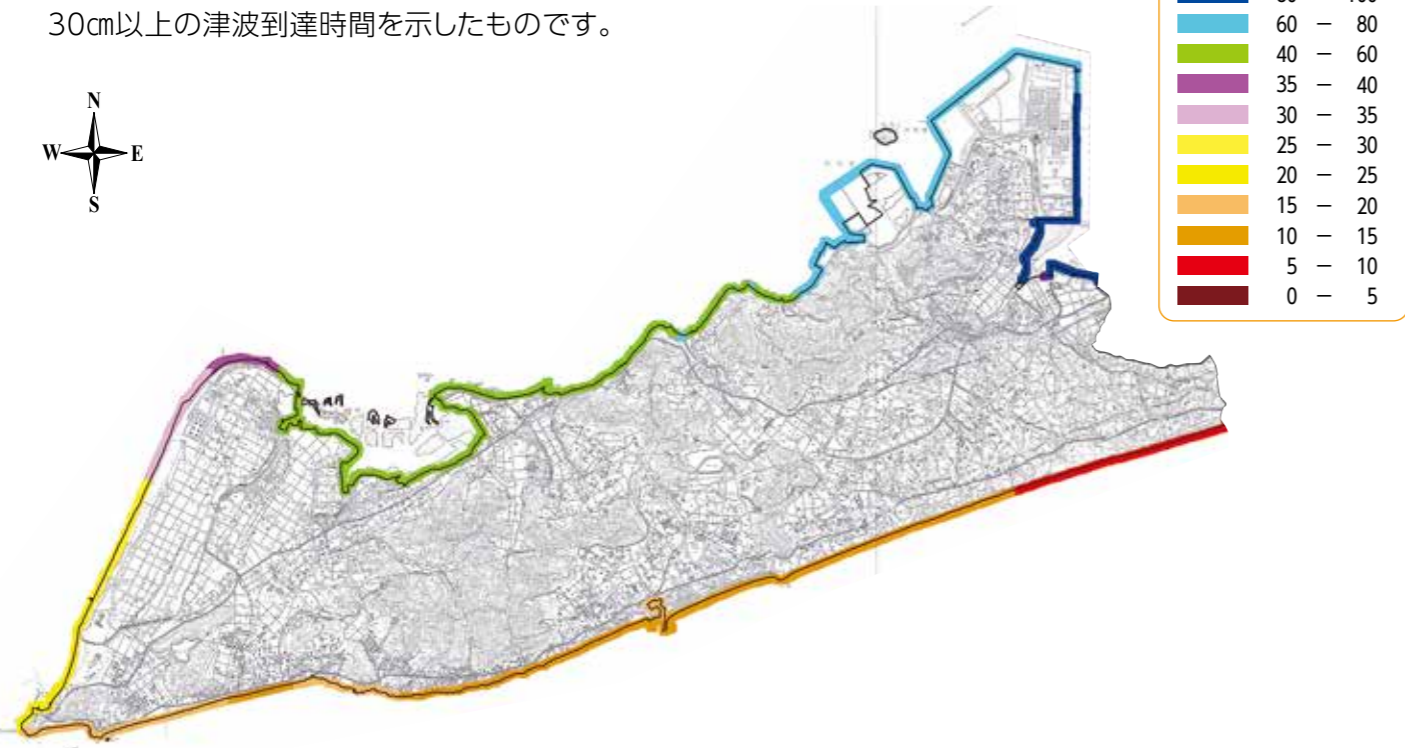
## ◎推定津波高分布図

本図は、平成27年6月に田原市が公表した想定される南海トラフ地震の津波高を示したものです。



## ◎推定津波到達時間分布図

本図は、平成27年6月に田原市が公表した想定される南海トラフ地震の30cm以上の津波到達時間を示したものです。



※出典 田原市：平成27年6月公表「田原市南海トラフ地震被害予測調査報告書」

## ■津波フラッグ

令和2年6月24日から海水浴場等で、「津波フラッグ」により大津波警報、津波警報、津波注意報(以下、「津波警報等」という)が発表されたことをお知らせする取組が始まりました。

津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘等、様々な手段で伝達されますが、令和2年夏から海水浴場等で「津波フラッグ」による視覚的伝達が行われます。

「津波フラッグ」を用いることで、聴覚に障害をお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表をお知らせできるようになります。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始しましょう。



### 津波フラッグとは

津波フラッグは、長方形を四分分割した、赤と白の格子模様のデザインです。縦横の長さや比率に決まりはありませんが、遠くからの視認性を考慮して、短辺100cm以上が推奨されます。



太平洋に面している田原市では、大地震による津波被害が想定されています。海辺にいるときに地震が発生した場合、すぐに安全な場所に逃げられるように津波避難看板や津波セーフティライン(想定されている津波浸水区域より高い位置にある海岸への道路に表示し、避難の際の目安となる標示)などが整備されています。



津波避難看板



津波セーフティライン



# 11 大雨について

一度は大雨警報(注意報)をみたことがあると思います。外は雨がほとんど降っていないのに警報(注意報)が発表されているのはなぜでしょう?

それは、現在、大雨が降っていなくても、大雨の影響で災害が発生するおそれがあるからです。気象庁による大雨警報(注意報)の発表基準については、土壌雨量指数と表面雨量指数があり、どちらかがこの基準を超えると大雨警報(注意報)が発表されます。

## 1. 土壌雨量指数について

降った雨による土砂災害危険度の高まりを把握するための指標です。土砂災害は、これまでに降った雨による土の中の水分量が深く関係しており、土壌雨量指数は、降った雨が土の中に水分量としてどれだけ溜まっているかを、モデルを用いて数値化したものです。

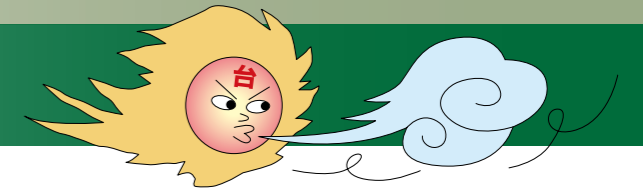
## 2. 表面雨量指数について

短時間強雨による浸水危険度の高まりを把握するための指標です。降った雨が地中にしみ込みやすい山地や水はけのよい傾斜地では、雨水が溜まりにくいという特徴がありますが、地表面の多くがアスファルトで覆われている都市部では、雨水が地中にしみ込みにくく地表面に溜まりやすいという特徴があります。こうした地面の被覆状況や地質、地形勾配などを考慮して、降った雨が地表面にどれだけ溜まっているかを、タンクモデルを用いて数値化したものです。

## 3. 雨の強さと降り方

1時間雨量(mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内(木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上~20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	ワイパーを速くしても見づらい
20以上~30未満	強い雨	どしゃ降り	傘をさしてもぬれる	覆っている人の半数くらいが雨に気がつく		
30以上~50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る			道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50以上~80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)			水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上~	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる	傘は全く役に立たなくなる			

# 12 台風について



## ◎台風とは

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼び、このうち北西太平洋に存在し低気圧域内の最大風速がおおよそ17m/s以上のものを「台風」と呼びます。

田原市では過去に「伊勢湾台風」、「東三河集中豪雨」などの台風・大雨により何度となく大きな被害にあっています。台風や大雨の被害は、正確な気象情報を知ることによって最小限にとどめることができます。気象庁が発表する注意報や警報などの情報に注意しましょう。

大きさの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上~800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s(64ノット)以上~44m/s(85ノット)未満
非常に強い	44m/s(85ノット)以上~54m/s(105ノット)未満
猛烈な	54m/s(105ノット)以上

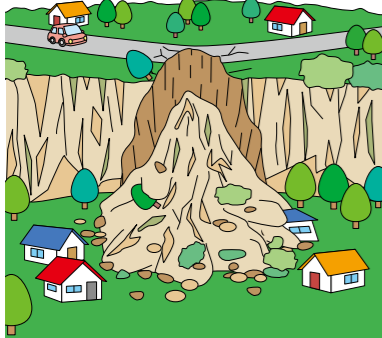
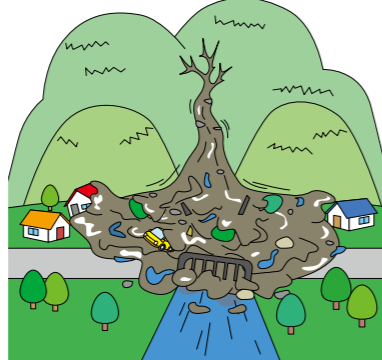

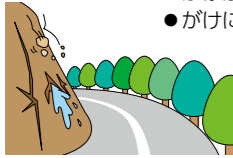

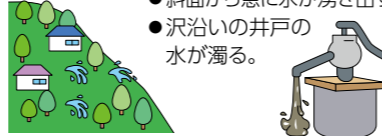
風の強さ(予報用語)	平均風速(m/s)	おおよその時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	おおよその瞬間風速(m/s)
やや強い風	10以上15未満	50 km	一般道路の自動車	風に向かって歩けにくくなる。傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上20未満	70 km	高速道路の自動車	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。看板やトタン板が外れ始める。	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に強い風	20以上25未満	90 km		特急電車	何かにつかまっていなくて立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	通常で運転するのが困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。
	25以上30未満	110 km	固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。					
猛烈な風	30以上35未満	125 km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。	50
	35以上40未満	140 km					住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	
	40以上	140 km						60

# 土砂災害から身を守るには

土砂災害は主に台風や長雨、集中豪雨などの大雨により、地盤がゆるむことで発生します。災害の特徴や前兆現象、気象情報、避難する際のポイントを知っておきましょう。また、市内のどのような場所に土砂災害のおそれのある箇所があるのかを知っておきましょう。

## ◎災害の特徴

土砂災害はがけ崩れ、土石流、地すべりに分類され、それぞれ特徴があります。また、災害発生の前兆として前兆現象が起きることがありますので、斜面や沢の様子に注意して、普段と異なる状況であれば、直ちに周りの人と安全な場所に避難しましょう。

がけ崩れ	土石流	地すべり
<p>雨や地震などの影響で地盤がゆるみ、突然斜面が崩れ落ちる現象です。</p> 	<p>山や川を構成する土砂が大雨などにより発生する大量の水と一緒に激しく押し流される現象です。</p> 	<p>地下水などの影響により、斜面を構成する土塊が斜面下方に大きくすべりだす現象です。</p> 
<p><b>【前兆現象】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小石がぱらぱら落ちる。</li> <li>●がけから水が湧き出る。</li> <li>●がけに裂け目ができる。</li> </ul> 	<p><b>【前兆現象】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●山鳴りがする。</li> <li>●流れが急に濁ったり流木が混ざったりする。</li> <li>●川の水が急に減り始める。</li> </ul> 	<p><b>【前兆現象】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●斜面や地面にひび割れができる。</li> <li>●斜面から急に水が湧き出す。</li> <li>●沢沿いの井戸の水が濁る。</li> </ul> 

## ◎土砂災害のおそれのある場所を知る

市内のどこに土砂災害のおそれのある箇所があるのかを事前に知っておくことも重要です。

- インターネットで調べる
  - マップあいち(土砂災害情報マップ) <http://maps.pref.aichi.jp/>
- 地図で確認する
  - 田原市防災マップ

## ◎我が家のマイタイムラインを作る

風水害による災害時の備えとして、50ページにあるマイタイムラインを活用して作成しましょう。事前に災害時の行動や備えについて決めておくことでいざという時に気持ちの余裕が出て落ち着いて行動できます。

## ◎土砂災害危険箇所と土砂災害(特別)警戒区域について

現在、土砂災害危険箇所を対象として、愛知県が土砂災害防止法に基づき「基礎調査」を行い、土砂災害のおそれのある区域を土砂災害警戒区域に指定しています。特に大きな被害が生じるおそれのある区域を土砂災害特別警戒区域に指定しています。(令和2年12月8日現在)

### 土砂災害危険箇所

急傾斜地崩壊危険箇所等 (がけ崩れ)	土石流危険渓流等 (土石流)	地すべり危険箇所 (地すべり)
傾斜度30°以上、高さ5メートル以上の急傾斜地で、崩壊により被害が生じるおそれのある箇所を言います。	土石流発生の危険性があり、被害を及ぼすおそれのある渓流を言います。	地すべり発生の危険性があり、被害を及ぼすおそれのある箇所を言います。

**「基礎調査」の実施**

田原市には土砂災害警戒区域は**251**箇所、土砂災害特別警戒区域は**203**箇所指定されています。

### 土砂災害(特別)警戒区域の指定

がけ崩れ	土石流	地すべり
<p>急傾斜地が崩壊した際に被害を及ぼすおそれのある地域が、がけの前後を含め指定されます。</p> <p>■ 214 (警戒区域) ■ 189 (特別警戒区域)</p>	<p>谷筋を下ってきた土石流が扇状に広がり、被害を及ぼすおそれのある区域が指定されます。</p> <p>土石流のおそれのある渓流 ← 扇頂部</p> <p>■ 37 (警戒区域) ■ 14 (特別警戒区域)</p>	<p>斜面が断続的に滑る区域と、それにより被害を及ぼすおそれのある区域が指定されます。</p> <p>■ 0 (警戒区域) ■ 0 (特別警戒区域)</p>

## ◎気象情報と土砂災害警戒情報について

土砂災害は降雨時に発生することが多いため、これまで降った雨量や、これから予想される雨量に注意が必要です。また、大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、土砂災害の危険度が高まった時には、土砂災害警戒情報が発表されます。これは、市町村長が避難指示等を発令する際の判断や、自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表する、土砂災害特有の防災情報です。いざというときに正しい判断、行動をするために、気象情報を積極的に入手しましょう。土砂災害警戒情報は、テレビ・ラジオのほか、下記のホームページでも確認できます。

- 気象庁 <http://www.jma.go.jp/jp/dosha/>
- 愛知県 <http://www.sabo.pref.aichi.jp/>



# 14 特別警報について

東日本大震災による津波や、平成23年台風第12号による紀伊半島を中心とする大雨では、極めて甚大な被害が出ました。

これらの災害において、気象庁は警報をはじめとする防災情報により重大な災害への警戒を呼びかけたものの、災害発生の危険性が住民や地方自治体に十分には伝わらず、迅速な避難行動に結びつかない例がありました。気象庁ではこの事実を重く受け止め、大規模な災害の発生が切迫していることを伝えるために、平成25年8月から「特別警報」を創設しました。

## 特別警報は、これまでにない危険が迫っていることをお知らせします

### 特別警報が発表されたら

- 尋常でない大雨や津波等が予想されています。
- 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

## 数十年に一度の大雨などが予想された場合に特別警報を発表します

### 特別警報の発表基準

現象の種類	基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合	
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

表中の“数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

## 大津波警報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基準
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合 (大津波警報を特別警報に位置づける)
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 (噴火警報(噴火警戒レベル4以上)及び噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける)
地震(地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける)

# 15 災害用伝言サービス

## NTT災害用伝言ダイヤル「171」

被災地の方が、自宅の電話番号宛に安否情報(伝言)を音声で録音(登録)し、全国からその声を再生(確認)することができます。

### 伝言の登録方法

**171をダイヤル**  
ガイダンスが流れる

**1をダイヤル**  
ガイダンスが流れる

**0531-△△-XXXX**  
自宅の電話番号を市外局番からダイヤル

ガイダンスが流れる

**30秒以内で録音**

例えば…「〇〇町の田原太郎は〇〇小学校に避難しています。家族全員無事です。」

**使用の手順**

### 伝言の確認方法

**171をダイヤル**  
ガイダンスが流れる

**2をダイヤル**  
ガイダンスが流れる

安否を確認したい人の電話番号を市外局番からダイヤル  
**0531-△△-XXXX**

「〇〇町の田原太郎は〇〇小学校に避難しています。家族全員無事です。」と再生されます。

- 利用可能な端末：一般電話、公衆電話、携帯電話
  - 1電話番号あたり1～10伝言
  - 1伝言あたり30秒以内
  - 保存期間は、録音してから2日間(48時間)
  - 保存期間を経過した時点で自動的に消去されます。
- 災害用伝言ダイヤルの体験利用ができます。
  - 【利用可能期間】
  - ◎ 毎月1日、15日 (0:00～24:00)
  - ◎ 正月三が日 (1月1日 0:00～1月3日 24:00)
  - ◎ 防災週間(8月30日 9:00～9月5日 17:00)
  - ◎ 防災とボランティア週間(1月15日 9:00～1月21日 17:00)

## 災害用伝言板

携帯電話のインターネット接続機能で、被災地の方が伝言を文字によって登録し、携帯電話番号をもとにして全国から伝言を確認できます。(スマートフォンでのご利用については、各社のホームページで確認してください。)

**伝言の登録方法**

- 1 携帯電話から災害用伝言板にアクセスします。
- 2 「災害用伝言板」の中の「登録」を選択します。
- 3 現在の状態について、「無事です」等の選択肢から選び、任意で100文字以内のコメントを入力します。
- 4 最後に「登録」を押して、伝言板への登録が完了となります。

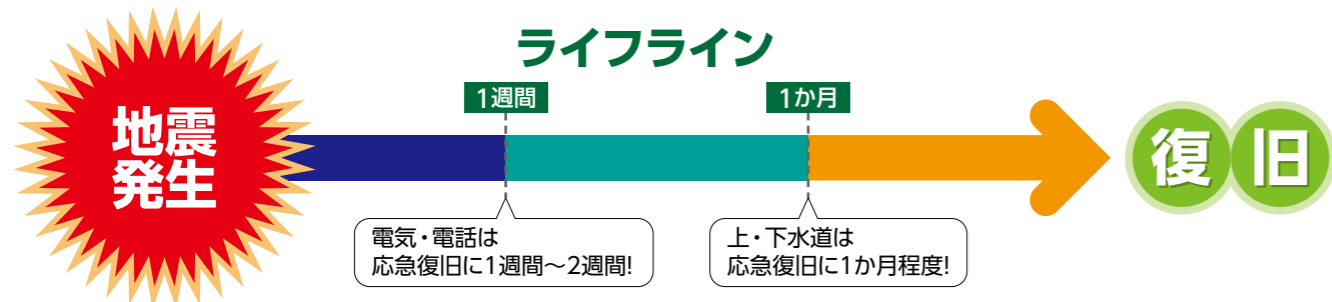
**伝言の確認方法**

- 1 災害用伝言板にアクセスします。
- 2 「災害用伝言板」の中の「確認」を選択します。
- 3 安否を確認したい人の携帯電話番号を入力し、「検索」を押します。
- 4 伝言一覧が表示されますので、詳細を確認したい伝言を選択してください。

- 1電話番号あたり1～10伝言
  - 1伝言あたり30秒以内
  - 保存期間は、1つの災害での災害用伝言板を終了するまで
  - 災害用伝言板の体験利用ができます。
- 【利用可能期間】
  - 毎月1日、15日(0:00～24:00)
  - 正月三が日(1月1日 0:00～1月3日 24:00)
  - 防災週間(8月30日 9:00～9月5日 17:00)
  - 防災とボランティア週間(1月15日 9:00～1月21日 17:00)

# 16 ライフラインの復旧

ライフラインの応急復旧には、電気・電話は1週間程度、LPガスは1～2週間程度、上・下水道は1か月程度かかると予想されます。毎日当然のように使っているこれらのライフラインが、例えば、1週間でもまったく使えなくなったことを想像してみてください。こういう時こそ、日頃の食料、飲料水などの備蓄が役立ちます。



## ◎防災アプリの活用

災害時は様々な情報が飛び交い、正しい情報の取得が難しくなります。現在、防災に関する様々なアプリがあるため、それらを活用して正確な情報収集しましょう。

また、防災情報が分かるアプリや停電情報について電力会社が提供しているため、こちらも活用しましょう。



Yahoo! 防災アプリ



中部電力パワーグリッド  
停電情報



LINE アプリ

# 17 緊急地震速報

## ◎緊急地震速報とは

地震をすばやくキャッチし、強い揺れが始まることを数秒から数十秒前にお知らせする情報で、テレビ・ラジオ・携帯電話などを通じて入手できます。

※震源に近い場所では、強い揺れに間に合わないことがあります。

## ◎緊急地震速報を見聞きしたときは

→ 強い揺れが来るまでの間に、身を守るための行動を取る必要があります。

強い揺れに警戒してください



あわてず、まずは身の安全を!!

# 18 田原市安心安全ほっとメールの登録

田原市メール配信システム(田原市安心安全ほっとメール)では必要な情報を選択していただくと、登録したメールアドレスに各種情報(「防災情報」「防災行政無線情報」「防犯情報」)のメールをお届けします。

## 田原市 安心安全ほっとメール



携帯電話やスマートフォン、パソコンに「防災情報」「防災行政無線情報」「防犯情報」をお知らせするメール配信サービスです。このサービスのご利用には利用者登録が必要で、下記の登録方法に沿って行うことができます(受信のできる環境が必要です)。皆さんの登録をお願いします。  
※登録は無料ですが、メール受信にかかる通信料(1通あたり1～2円)は利用者の負担となります。

### ●配信内容

- 防災情報**
- 気象警報(波浪警報は除く)、津波注意報、竜巻注意情報が発表された場合
  - 田原市内で震度1以上が観測された場合
  - 東海地震注意情報などの防災上必要な情報

- 防犯情報** 児童・生徒を対象とした防犯情報(不審者情報等)

- 防災行政無線情報** 防災行政無線(同報無線)で市内全域に放送した内容

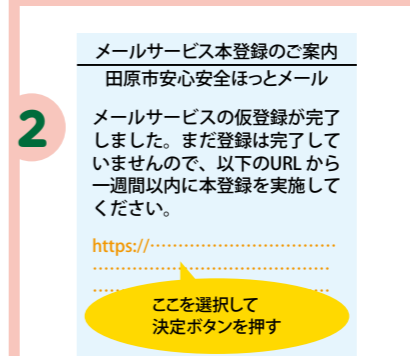
### ●登録方法

QRコードを読み取り、空メール(件名・本文不要)を送信してください。

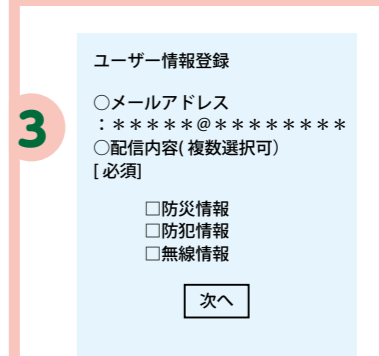


QRコードの読取が出来ない場合は [bousai.tahara-city@raidai.ktaiwork.jp](mailto:bousai.tahara-city@raidai.ktaiwork.jp) に空メールを送信してください。

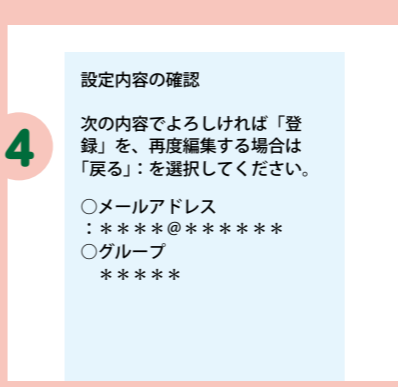
数分以内に、登録用URL が記載されたメールが届きます。



必要事項を記入、選択し「次へ」を押します。



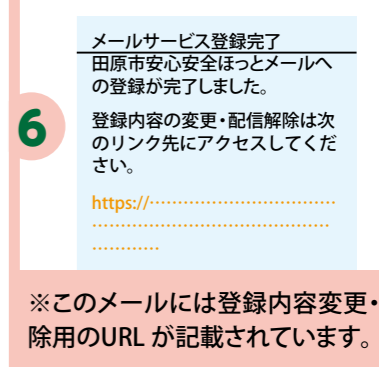
内容を確認し「登録」を押します。



登録完了です。



数分以内に、登録完了のお知らせメールが届きます。



### ●迷惑メール設定について

迷惑メール対策をしている場合はメールを受け取れない場合があります。[bousai@city.tahara.aichi.jp](mailto:bousai@city.tahara.aichi.jp) からのメールを受信可能なように設定してください。うまくいかない場合は、各携帯電話会社のサイトか販売店までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 防災対策課 TEL 0531-23-3548



# 19 非常持出品 備蓄品を備えよう

非常持出品は家族構成を考えて必要なものを用意しておきましょう。また、少なくとも一年に一回は、使用期限、賞味・消費期限などの点検を行いましょう。

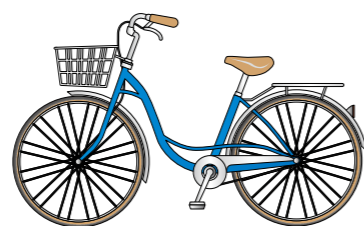
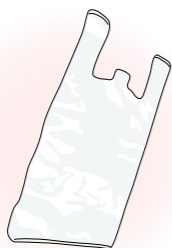


## あると便利な物

東日本大震災では、長引く避難生活の中で、さまざまなグッズが注目されました。

### ビニール袋

大型ビニール袋は、中央部に穴をあけ、頭からすっぽりかぶるとレインコートに。ダンボール箱の中に重ねれば簡易トイレに。水の運搬にも使えます。さらに、火災の際、空気を入れ換えてかぶると煙を吸わずに避難できると言われています。サイズの小さいものも何かと便利です。



### バイク・自転車

混雑する交通網の中で、機動力を発揮します。



### ウエットティッシュ

水が不足している時に傷口をふいたり、顔や手をふきます。



### ラップ

食器にかぶせて使い、食後にラップを外せば洗わなくてもすみます。水がないとき重宝します。

### 水のいらない

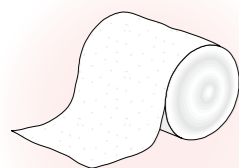
### ドライシャンプー

シャンプーできない時に。



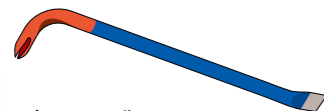
### 〈その他〉

- ①簡易トイレ
- ②寝袋
- ③毛布
- ④使い捨てカイロ
- ⑤保険証などのコピー



### トイレトペーパー

本来の目的の他に、食器の汚れをふきとったり、タオル代わりに。



### パール・ジャッキ

倒壊した家から、家族を救出するのに自動車のジャッキを使った人がいました。また「パールさえあれば助け出せた」という事例もありました。



### 携帯充電器

## 食料

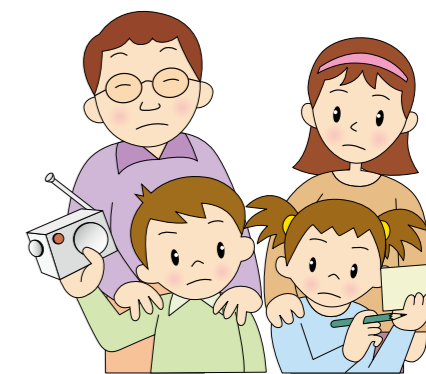
非常食最低3日分(できれば7日分)程度を用意しておきましょう。



- 日頃から利用できる缶詰やレトルト食品・飲料など、保存がきく食料を買い置きしておきましょう。

## 飲料水

1人につき、1日3リットルの水を最低3日分用意しておきましょう。



## CHECK 3

### ガソリン給油について

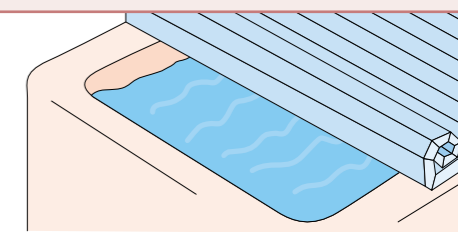
災害時は、道路の損壊やガソリンスタンドに車が殺到し、ことで給油ができないかもしれません。日頃からガソリンが半分になったら給油するなど目安を決め、早めに対応することで災害に備えましょう。



## これは便利

### 多目的に水を使いたい

- 風呂にはってある水
- 水洗トイレのタンク内の水 など



## CHECK 3

### 赤ちゃんがいる家庭では

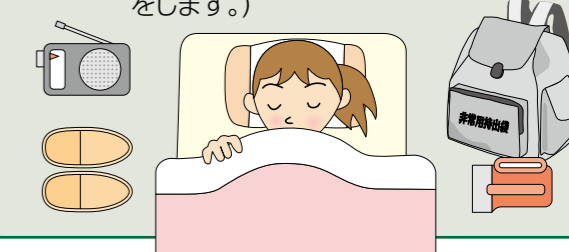
ミルク、哺乳ビン、離乳食、スプーン、オムツ、清浄綿、おしりふき、おんぶ紐、バスタオル又はベビー毛布、ガーゼ又はハンカチなどを追加。



## CHECK 3

### 夜、寝るときは

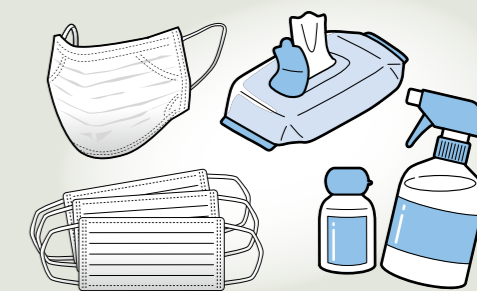
身近な所に、非常持出袋、懐中電灯、ラジオ、スリッパ(靴)などを置いておきましょう。(素足では、割れたガラスでケガをします。)



## CHECK 3

### ウイルス禍での災害に備えましょう

日頃から感染症対策が必要となっていますが、災害時に感染リスクはなくなりません。そのため、日頃から備えている非常持出品や備蓄品の中にマスクやアルコール消毒液など感染症対策ができる物を追加し、災害時における感染リスクを減らしましょう。










## ◎非常持出品 チェックリスト(例)

万が一に備えて、非常持出品をそろえましょう。

少なくとも1年に1回以上の確認(保存期間、不足品等)を行い、必要に応じて補充や交換をしましょう。

<p><b>貴重品類</b> 現金は5万円程度。10円玉は公衆電話用に20枚程度用意しましょう。 通帳・カード・保険証などについては、コピーや少なくとも番号を控えたメモをあらかじめ用意しておきます。</p> 	<input type="checkbox"/> 現金、10円玉 <input type="checkbox"/> 貯金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> カード類 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 免許証 <input type="checkbox"/> 証書類 <input type="checkbox"/> 携帯電話及び充電器 <input type="checkbox"/> 家や車のキー	<p><b>非常食品・食器</b> 避難時に持ち出せる最低限の量で、調理しなくても食べられるものを用意しましょう。(3日分)</p>	<input type="checkbox"/> 非常食(3日分) <input type="checkbox"/> 乾パン・缶詰など <input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> はし、缶切りなど										
<p><b>避難用具</b> ラジオは小型で軽くFMとAMの両方聞けるもの、照明器具はなるべく一人に一つ用意。</p>	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 懐中電灯、ろうそく <input type="checkbox"/> 予備電池 <input type="checkbox"/> ヘルメット	<p><b>衣類</b> 衣類は不燃素材や綿素材のものがよいでしょう。</p>	<input type="checkbox"/> 下着類(着替え) <input type="checkbox"/> 防寒着 <input type="checkbox"/> 雨ガッパ <input type="checkbox"/> タオル、ハンカチ										
<p><b>救急用具</b></p> 	<input type="checkbox"/> 消毒液 <input type="checkbox"/> 傷薬 <input type="checkbox"/> 湿布薬 <input type="checkbox"/> 三角巾、包帯 <input type="checkbox"/> 脱脂綿 <input type="checkbox"/> ばんそうこう <input type="checkbox"/> 風邪薬、胃腸薬 <input type="checkbox"/> 常備薬、処方薬 <input type="checkbox"/> お薬手帳	<p><b>生活用品</b></p> 	<input type="checkbox"/> 万能ナイフ <input type="checkbox"/> マッチ、ライター <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> ビニールシート、ビニール袋 <input type="checkbox"/> ひも、ガムテープ <input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> 裁縫道具 <input type="checkbox"/> 洗面用具(タオル・石鹸) <input type="checkbox"/> 生理用品										
<p><b>感染症対策</b></p> 	<input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 携帯用アルコール消毒液 <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> ハンドソープ・固形石鹸 <input type="checkbox"/> 使い捨て手袋	<p><b>その他</b></p> 	<input type="checkbox"/> 赤ちゃん用品 <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 住所録のコピー <input type="checkbox"/> 笛(ホイッスル)										
<p><b>このほかに必要な物があれば記入しておきましょう。</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 50%; height: 20px;"></td><td style="width: 50%; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 50%; height: 20px;"></td><td style="width: 50%; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 50%; height: 20px;"></td><td style="width: 50%; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 50%; height: 20px;"></td><td style="width: 50%; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 50%; height: 20px;"></td><td style="width: 50%; height: 20px;"></td></tr> </table>													

**CHECK 3**  **防災ポーチを使おう!**  
確認した非常持出品の中から携帯できそうなものをポーチなどにまとめて普段から持ち運びましょう。


# 20 災害に備えよう

災害はいつ発生するか分かりません。日頃から非常持出品や備蓄品について準備しておきましょう。

●まず、災害時の生活に必需品を検討しましょう。検討結果を基に必需品を備えましょう。



●次に、備えた必需品等を非常持出品袋にまとめ、災害時にすぐに出せるような場所に用意しておきましょう。

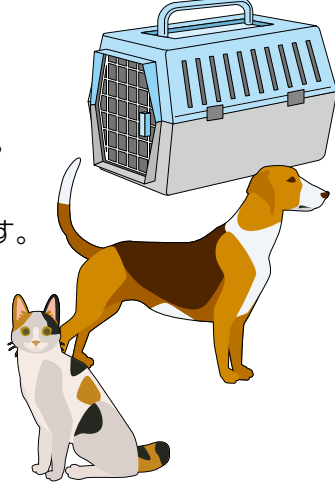


●大規模災害時は、道路の損壊等で救援物資が届くのにかかる時間も想定されますので、備蓄品を最低3日分、できれば1週間以上準備しましょう。



## ◎ペットとの同行避難の心構え

- **ケージ・エサ・シートなどを用意**  
避難所に備蓄はありません。ケージ・リードを含め飼い主が責任を持って準備を。
- **感染症予防ワクチンを接種**  
犬は年1回の狂犬病予防接種が必須で、注射済票と鑑札の装着も義務となります。ペット動物も感染症予防が重要です。
- **ノミ・ダニなどの寄生虫を予防**  
ペット動物の体を清潔に保ち、日ごろから健康管理を。
- **共同生活をするための「しつけ」**  
ケージなどに入ることを嫌がらないよう、普段から慣らしておくことが大切です。



**!** 避難所運営本部では、ペット動物の世話はできません!

**用語** **ローリングストック法って?**

非常食をまとめて備蓄しても消費期限を過ぎたら再びまとめて備蓄をしなければなりません。備蓄のために定期的に大量購入を繰り返すのは、家計の負担になります。そこでおすすめなのが、ローリングストック法です。消費しながら備えるこの方法は、食料だけでなくポリ袋やラップなどの生活用品にも活用できます。

なくなる前に多めに買う

↓

保存する

古いものから使う

備蓄する食料は、普段から食べているものがベスト!  
好きなお菓子はもちろん、ドライフルーツや長期保存できる野菜ジュースも「いつもの味」が安心

この方法は、食品ラップやトイレトペーパー、おむつやミルクなどでも使えます。



すべての住宅に、「煙式」の「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられています。少しでも早く火災の発生に気付けば助かる可能性が高くなります。

火災からの逃げ遅れを防ぐために、「住宅用火災警報器」の設置は大変有効です。

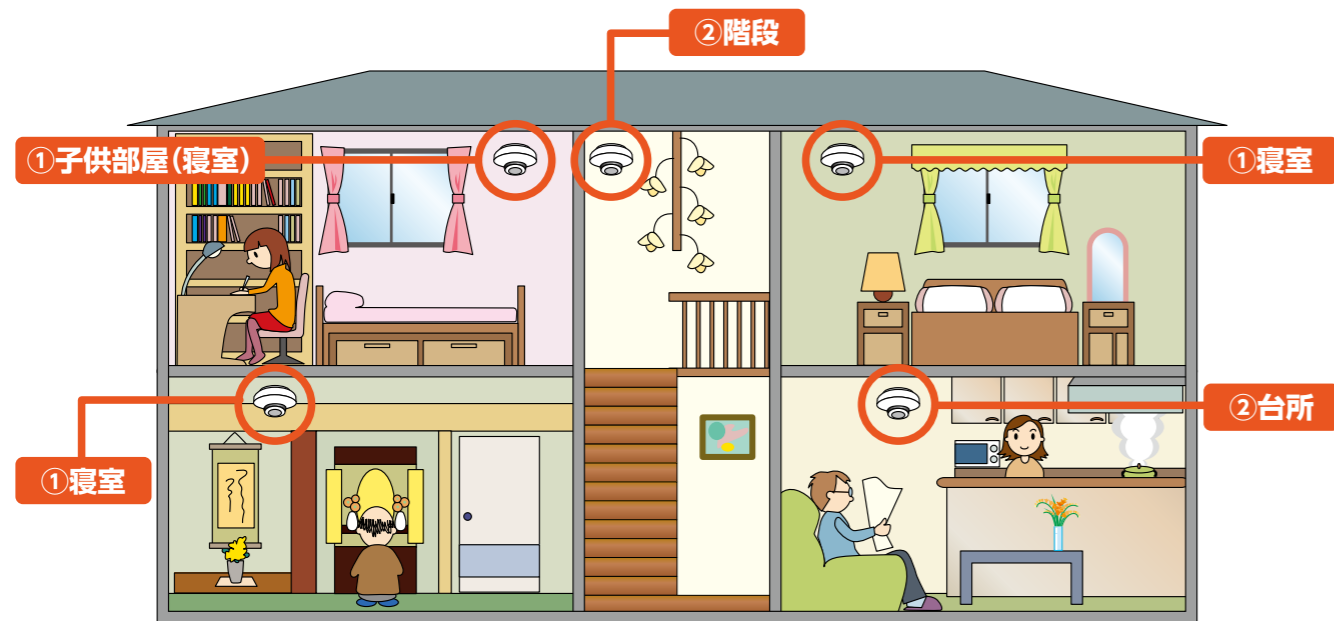
### ◎住宅用火災警報器とは？

火災により発生する煙を自動的に感知し、警報ブザーや音声により火災の発生を知らせるものです。住宅内の天井または壁に取り付けます。

### ◎住宅用火災警報器の設置場所

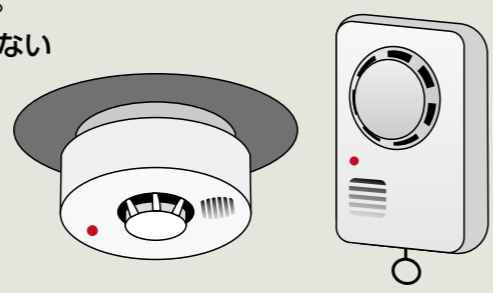
- ① 寝室の天井または壁 (子どもが就寝する部屋なども含む)
- ② 寝室のある階の階段の踊り場の天井または壁
- ③ 台所内の天井または壁

①～③まで全ての場所に設置



### CHECK 3

- 住宅用火災警報器は必ず設置。定期的に点検を。点検はボタンを押す、又はひもを引き、音が鳴らない場合は電池切れか機器本体が故障しています。
- 住宅用火災警報器は電化製品です。10年を目安に機器の交換を検討しましょう。
- 電池式の物は、電池交換を忘れずに！



### ◎消火器の取扱い方法

家のどこに「消火器」があるのか確認しておき、いざというときに初期消火ができるように消火器を備えておきましょう。

まったなし、火災は小さな火のうちに消火しましょう

消火器は、初期消火において火災を拡大させないための最善の消火手段です。

“見つけたら、大きな声で周囲に知らせ、初期消火”

### 操作はかんたん



### ●点検要領 「いざ」というときに使えるように消火器を備えましょう

- 消火器はすぐに見えるようにして、見えるところに置く
- 操作手段は、確認する
- 期限の切れたものはリサイクルへ

### ●このような消火器は使用しない



### 火災を拡大させない

- 燃えやすいものなどは、火気の上や周りには置かない。
- ガスボンベや灯油容器は転倒防止を工夫する。
- ガスの元栓、電気ブレーカーの位置は家族で確認し、操作方法を理解しておく。

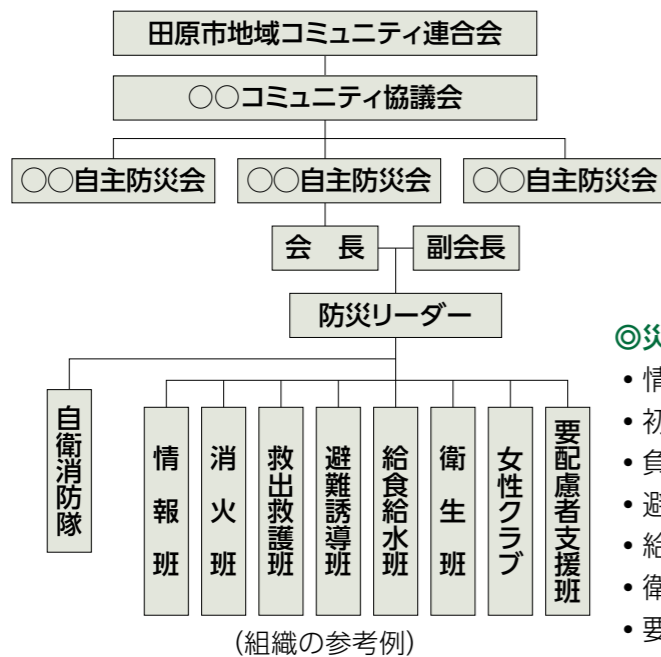


自主防災会

災害が起こった場合、被害を最小限にとどめるように防災関係機関は総力をあげて災害対応に取り組めます。しかし、大災害では、火災をはじめ、道路の寸断、断水など、さまざまな被害が広い範囲で発生し、消防や警察などの公的機関による救援活動がすぐに行われない場合もあります。そんなとき、地域のみなさんが消火、救出、救助などの活動に取り組み、被害を最小限にとどめるようお互いに協力し合うことが必要です。

「自分の命は自分で守る、自分たちの地域は自分たちで守る」

田原市には103の自主防災組織があり、防災訓練などの活動を通じて被害の防止及び軽減を図っています。



◎災害時の活動

- 情報の収集・伝達
- 初期消火
- 負傷者の救出・救護
- 避難誘導
- 給食・給水
- 衛生
- 要配慮者への支援など

◎平常時の活動

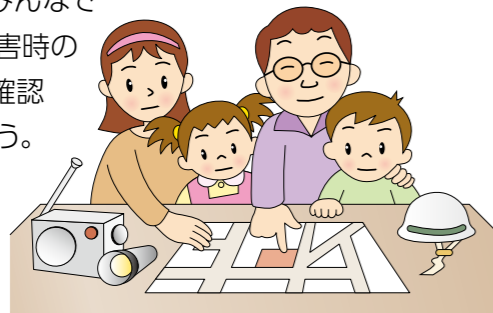
- 防災訓練の実施
- 防災知識の啓発
- 地域内の安全点検
- 防災マップの作成
- 資機材等の備蓄など

(組織の参考例)

日頃から家族で話し合おう

大地震が起きたときなどは、家族がバラバラになり、安否確認ができなくなるおそれがあります。

日頃から家族みんなで話し合っ、災害時の対応について確認しておきましょう。



- 災害時の連絡(安否確認)方法
- 避難場所や避難方法、避難経路の確認
- 非常持出品、備蓄品の確認
- 自宅周辺の防災マップの確認
- 家具転倒防止対策
- 高齢者や乳幼児、ペットなどの避難方法

◎気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう

(令和3年5月20日時点)

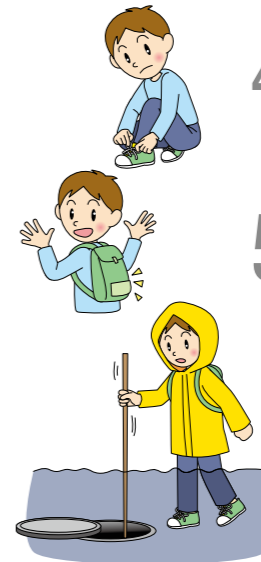
警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
			浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5	命を守る最善の行動	緊急安全確保	5相当 氾濫発生情報	大雨特別警報(土砂災害)
4	危険な場所から全員避難	避難指示	4相当 氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	危険な場所から高齢者などは避難	高齢者等避難	3相当 氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	ハザードマップ等で避難方法を確認	大雨注意報 洪水注意報	2相当 氾濫注意情報	—
1	最新情報に注意	早期注意情報	1相当 —	—

警戒レベル相当情報(河川や雨の情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に警戒レベル(避難情報)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

避難の心得

適切なタイミングで避難しましょう。避難が遅れると、避難行動中に被災して逃げ場を失うことがあります。地域で声を掛け合いみんなで助け合おう!

- 避難する時はひもで締められる運動靴で。長靴は中に水が入ると、かえって動きにくくなります。
- はぐれないよう、互いの身体をロープで結んで避難しましょう。子供からは絶対に目を離さないように。
- 水に浸った状態で歩ける深さは、およそ男性で70cm、女性で50cmが限界です。また流速がある場合、足のくるぶし以上の水量があると流され亡くなった事例もあり危険です。無理をせず、高所で救助を待ちましょう。
- 互いの手をつなぐのは行動の自由を奪うことにもつながります。非常持出品などはできるだけ背負うようにして、手を自由におきましょう。
- やむを得ず冠水した道を避難する場合は、水面下にはふたの脱落したマンホール、側溝、段差など危険が多いので、長い棒を杖代わりにして安全を確保しながら歩きましょう。
- 高齢者や身体の不自由な人は背負って運びます。幼児は浮袋、乳児はベビーバスなどを利用して安全を確保します。

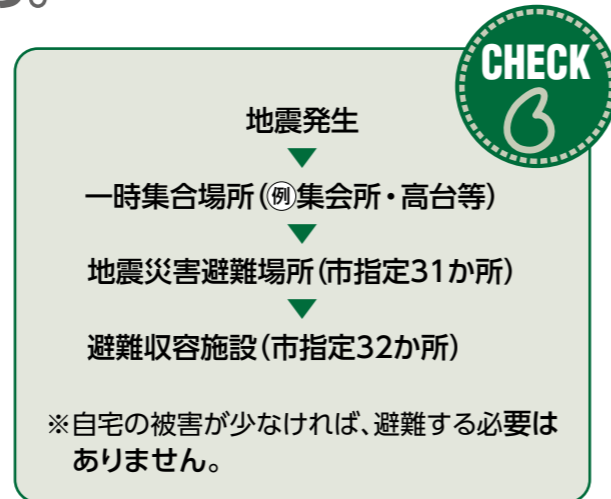




## 田原市の避難方法は、まず自宅周辺の安全な場所へ自主的に避難するというものです。

地震が発生したら、すぐに市指定の避難所に避難するというわけではありません。自宅の被害が少なければ、避難する必要はありません。

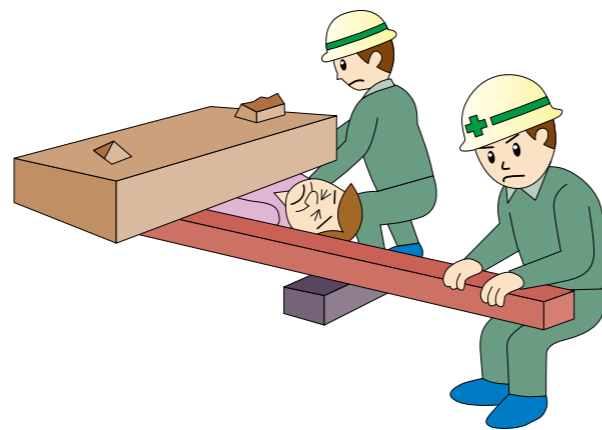
- ただし、がけ崩れや火災の延焼のおそれがある場合、又は、家屋が被害を受けて居住不能の場合は、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締め、速やかに避難しなければなりません。
- なお、海岸や河川、避難対象区域にいる人は、ただちに高台へ避難してください。



## ◎まず人命確保が第一

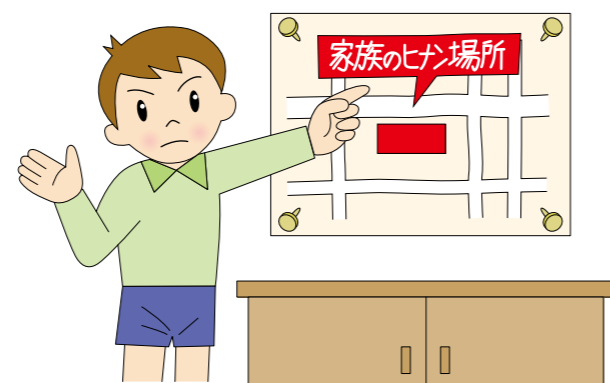
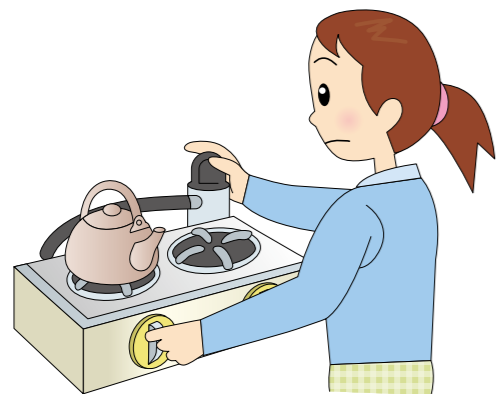
二次災害の防止と、隣近所の助け合いが必要です。

- 生き埋めになっている人やけがをしている人の救出救護活動を。
- 火災が発生した場合は、初期消火活動を。(消防車・救急車が必ず来るとは限りません)



## ◎安全に避難するための8か条

- ①避難する前に、もう一度火元を確認する。  
ブレーカーを切る。ガスの元栓を締める。
- ②荷物は最小限にする。
- ③玄関に避難先や安否情報を記したメモを残す。
- ④長袖・長ズボンなどの安全な服を着用し、ヘルメットや防災頭巾で頭を保護する。
- ⑤避難は徒歩で。
- ⑥お年寄りや子どもの手はしっかり握る。
- ⑦隣近所に声をかけ、自主防災会で決められた集合場所へ。
- ⑧避難するときは、狭い道・ブロック塀・川べりなどは避ける。



## ◎地震災害避難場所及び地震避難所一覧表

がけ崩れや延焼のおそれのある場合、家屋が被害を受け居住不能の場合は、自主防災会（避難誘導班など）の指示に従い、指定の避難場所へ避難してください。

### ■地震災害避難場所とは？

津波などの災害から一時的に避難をするための場所

(令和3年3月1日時点)

地震災害避難場所	地区名
六連小学校運動場	長上、久美原、浜田、百々、新浜
東部中学校運動場	川岸、漆田一区、漆田二区、漆田三区、神戸市場
愛知みなみ農協ふれあい支店前広場	東赤石、サンコート
神戸小学校運動場	青津、希望が丘、赤松、志田、新美、南町、谷ノ口、東ヶ谷
大草小学校運動場	大草、大草団地
田原東部市民館前広場	相川、谷熊、やぐま台
田原東部小学校運動場	豊島、御殿山
田原南部市民館前広場	大久保
童浦小学校運動場	吉胡、木綿台、吉胡台、片浜、白谷、片西
童浦市民館前広場	浦、童台
笠山農村広場	西浦、波瀬、姫見台、光崎
田原中学校運動場	巴江
田原中部小学校運動場	萱町
成章高校運動場	本町、新町
衣笠小学校運動場	加治、衣笠、八軒家、藤七原、鎌田、東滝頭、赤石
サンテドーム前広場	芦
ふるさと教育センター屋外運動場	南、彦田、雲明、野田市場
野田小学校運動場	保井、東馬草、山ノ神、西馬草、今方、北海道、仁崎、ほると台
高松小学校運動場	高松
赤羽根中学校運動場	赤東、赤中、赤西
若戸小学校運動場	池尻、若見、越戸
和地市民館前広場	和地、土田
渥美運動公園野球場 ※伊良湖小学校完成まで	小塩津、和地一色
渥美運動公園野球場	堀切
旧伊良湖小学校運動場	伊良湖、日出
亀山小学校運動場	亀山、西山
中山小学校運動場	小中山
福江中学校運動場	中山、向山
福江小学校運動場	長沢、福江、保美
清田小学校運動場	山田、高木、折立、古田
泉小学校運動場	江比間(紺屋川以西)、伊川津、石神、夕陽が浜
泉市民館前広場	宇津江、江比間(紺屋川以东)、八王子、村松、馬伏



■地震避難所とは？

災害時に自宅が全壊・半壊した場合や電気・水道・ガス等が使用できない場合に一定期間生活をするための場所

避難収容施設	地区名	医療救護所
六連小学校	長上、久美原、浜田、百々、新浜	
東部中学校	川岸、漆田一区、漆田二区、漆田三区、神戸市場	◎
神戸市民館	東赤石、サンコート	
神戸小学校	青津、希望が丘、赤松、志田、南町、谷ノ口、東ヶ谷、新美	
大草小学校	大草、大草団地	
田原東部市民館	相川、谷熊、やぐま台	
田原東部小学校	豊島、御殿山	
田原南部市民館	大久保	
童浦小学校	吉胡、木綿台、吉胡台、片浜、白谷、片西	
童浦市民館・浦区事務所	浦、光崎、童台	
旧北部保育園	西浦、波瀬、姫見台	
田原中学校	巴江	◎
田原中部小学校	萱町	○
成章高校	本町、新町	
衣笠小学校	加治、衣笠、八軒家、藤七原、鎌田、東滝頭、赤石	
サントーム	芦	
野田小学校	南、彦田、雲明、保井、東馬草、山ノ神、西馬草、今方、北海道、野田市場、仁崎、ほとと台	○
高松小学校	高松	
赤羽根中学校	赤東、赤中、赤西	◎
若戸市民館	池尻、若見、越戸	
和地市民館	和地、土田	
渥美運動公園体育館 <small>※伊良湖小学校完成まで</small>	小塩津、和地一色	○
渥美運動公園体育館	堀切	○
伊良湖市民館	伊良湖、日出	
亀山小学校	亀山、西山	
中山小学校	小中山 ※第1次	
福江中学校	中山、向山	◎
福江小学校	長沢、福江、保美	
清田小学校	山田、高木、折立、古田	
泉小学校	江比間(紺屋川以西)、伊川津、石神、夕陽が浜 ※第1次	○
泉市民館	宇津江、江比間(紺屋川以东)、八王子、村松、馬伏 ※第1次	
渥美文化会館	小中山、宇津江、江比間、石神、夕陽が浜 ※第2次	
福江高校体育館	八王子、村松、馬伏、伊川津 ※第2次	

- ※小中山地区・泉小学校区の方々については、第1次が使用不能な場合は、第2次を使用します。
- 南海トラフ地震臨時情報のうち、(巨大地震注意)もしくは(巨大地震警戒)の発表時及び大規模地震が発生した場合、地震避難所には市の職員が配置され、地震避難所の開設及び運営を避難された方々と一緒に行います。
- 医療救護所は、第1次4か所、第2次4か所の計8か所が避難所とあわせて指定されていますので、どこの避難路が最も搬送に適しているか調べておきましょう。(◎:第1次、○:第2次)
- 避難場所ではリーダーの指示に従いましょう。
- 各避難所の位置は、「田原市防災マップ」等で確認しておきましょう。



地震発生後、被害が出た場合、市役所に災害対策本部が設置され、市内31か所の地震災害避難場所と32か所の地震避難所が開設されます。また、災害対策本部では、市長を本部長に各部ごとに班編成を行い、段階的に活動を行います。

◎避難所では

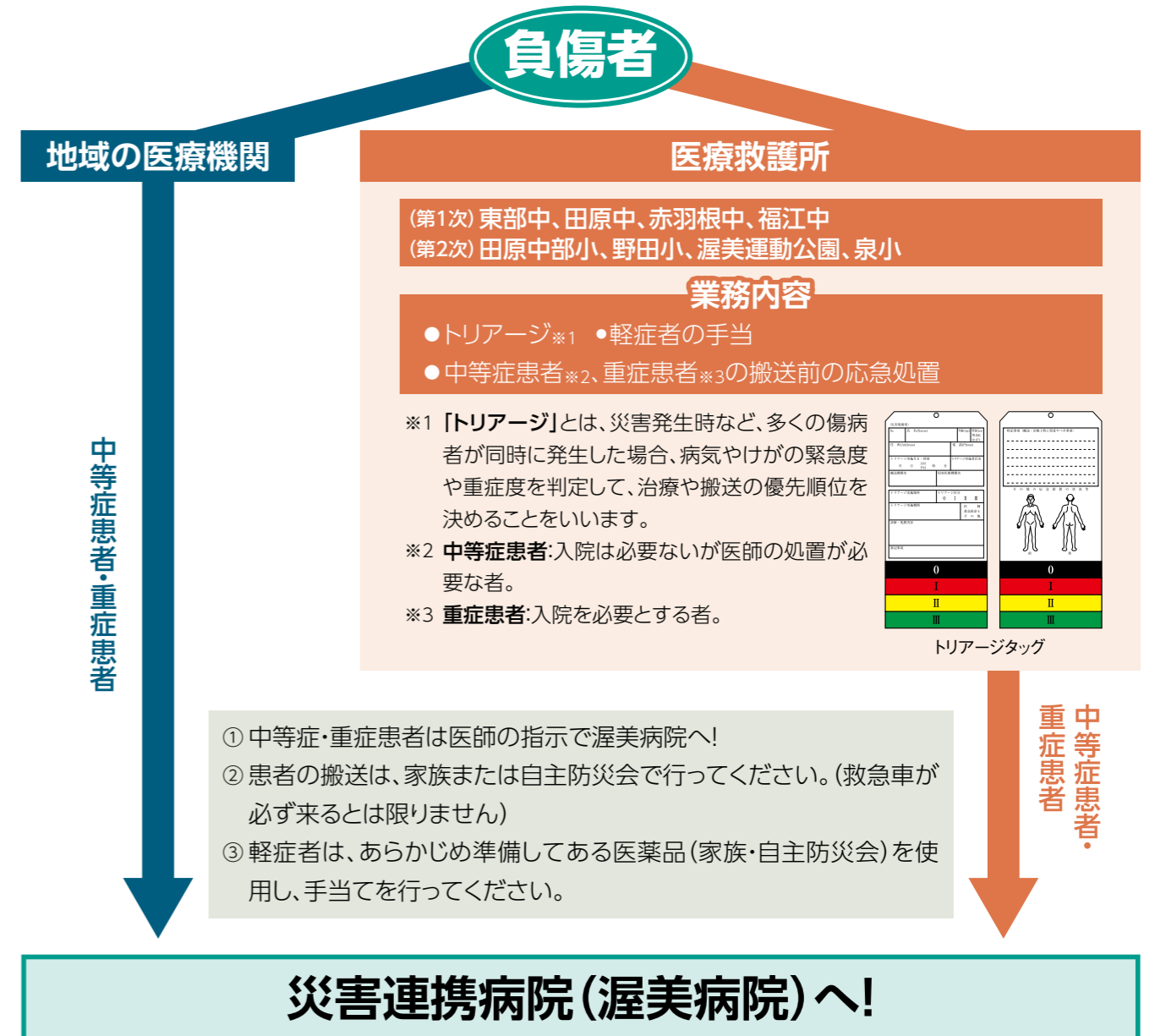
- ①生活場所の提供
- ②水、食料、物資の提供
- ③トイレなどの衛生環境の提供
- ④生活情報、再建情報の提供

※家族の安否確認や、生活情報、救助活動はまず避難所へ！  
※地震避難所は、地域のライフラインが復旧する頃を目途に閉鎖します。



◎医療救護所を知っていますか？

大規模災害発生時には、負傷者に対し応急的な救護活動を実施するため「医療救護所」を開設します。



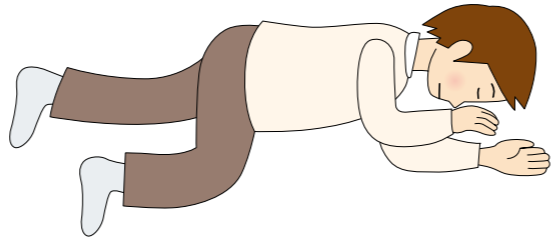
中等症患者・重症患者

中等症患者・重症患者



災害時には、いつケガに見舞われるかわかりません。  
一刻を争う事態の時は、適切な心肺蘇生と応急手当ができるかどうか、傷病者を救うカギとなります。

- ▶ 倒れている人を見つけたら、周囲の安全を確認しながら近づき、軽く肩をたたいたり、大声で呼びかけたりします。
- ▶ 反応がない場合は、その場で大声で叫んで助けを呼び、協力者が来たら119番通報とAEDの手配(近くにある場合)を依頼します。
- ▶ 普段どおりの呼吸がない場合は、心肺蘇生を行います。
- ▶ 反応はないが、普段どおりの呼吸がある場合は、体を横向きにして寝かせ、頭をうしろに反らせます。(回復体位)



## ◎心肺蘇生

### 1 呼吸の観察

- 胸、腹部の動きがあるかを見て、普段どおりの呼吸をしているかを観察します。
- 呼吸がなかったり、普段どおりの呼吸をしていない場合は、胸骨圧迫(心臓マッサージ)をします。

### 2 胸骨圧迫(心臓マッサージ)

胸骨(胸の真ん中にある骨)を圧迫して全身に血液を循環させるのが胸骨圧迫(心臓マッサージ)です。

- 平らな場所にあお向けに寝かせ、救助者は、その横わきに両ひざ立ちの姿勢をとります。
- 胸の真ん中に片方の手の付け根を当て、もう一方の手を重ねて置きます。
- ひじを伸ばし、垂直に圧迫します。

**成人**:両手で胸が約5cm沈むくらい圧迫します。

**小児**:片手または両手で胸の厚さの約1/3くらい沈むように圧迫します。

**乳児**:左右の乳首を結ぶ線より少し足側を指2本で胸の厚さの約1/3くらい沈むように圧迫します。

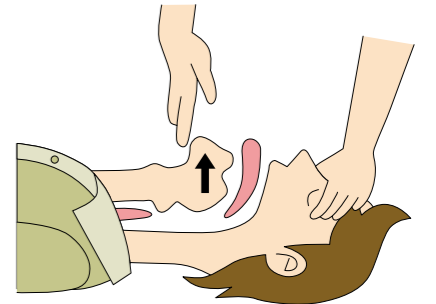
- 圧迫と圧迫の間(圧迫をゆるめる時)は、胸がしっかり元の位置に戻るまで十分に圧迫を解除します。この動作を1分間に100回~120回のリズムで繰り返します。
- 胸骨圧迫(心臓マッサージ)30回と人工呼吸2回を繰り返します。
- 協力者がいる場合は、胸骨圧迫(心臓マッサージ)は1~2分を目安に交代します。



- 心肺蘇生を中止するのは次の場合です。
  - ① 救急隊に心肺蘇生を引き継いだとき(救急隊が到着してもあわてて中止せずに、救急隊の指示に従います)。
  - ② 何らかの応答や目的のある仕草(例えば嫌がるなどの動き)が現れたとき。
  - ③ 普段どおりの呼吸をし始めた場合。

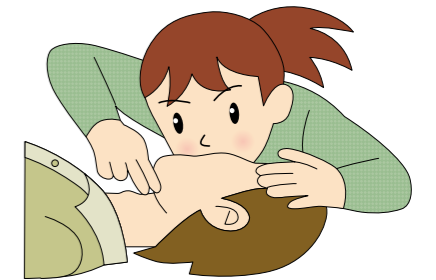
### 3 気道確保

- 平らな場所にあお向けに寝かせ、片手で倒れている人の額を押さえ、もう一方の手の人差し指と中指を下あごの先に当て持ち上げるようにして頭を反らします。



### 4 人工呼吸

- 鼻をつまみ、口のまわりから息がもれないように患者の口を覆い、胸が上がる程度の量を約1秒間かけて吹き込みます。できれば感染防護具を使用することが望ましいです。
- 胸が上がらなくても、人工呼吸は2回までとし、すぐに胸骨圧迫(心臓マッサージ)を行います。
- 食物などの異物が口の中に見えた場合は、指にハンカチなどを巻き、ぬぐうように取り除きます。
- ※ 胸骨圧迫(心臓マッサージ)が中断しないように注意を。
- 口対口の人工呼吸がためられる場合は、人工呼吸は実施せずに胸骨圧迫のみを繰り返し行います。



### 5 AED

AED(自動体外式除細動器)は、自動的に心臓の状態を判断し、必要に応じて電気ショックを与え、心臓の震えを取り除くことを試みる器械です。

突然死の死因のほとんどは心臓疾患です。その大部分は心室細動という病気です。

心室細動になると心臓がけいれんし、ポンプとしての役割が果たせず、助かるチャンスは1分経過するごとに約10%ずつ失われ、10分後にはほとんどの人が死に至ります。この心室細動による心臓の震えを取り除く唯一の方法は除細動(心臓への電気ショック)です。

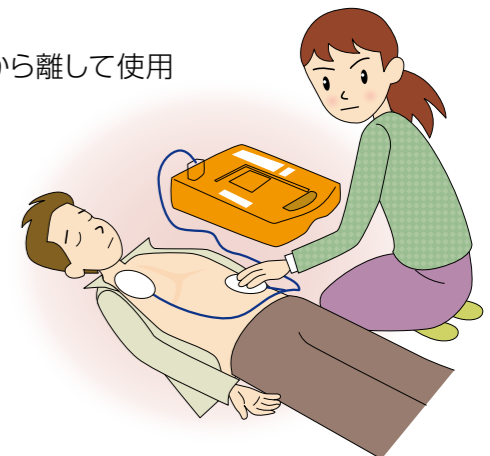
- 注意点と対処法

- ① 胸が濡れている ⇒ 乾いたタオルやハンカチで、パッドを貼る体の部分を拭いてから使用
- ② 胸部に貼布薬がある ⇒ はがして拭いてから使用
- ③ 医療器具が胸に埋め込まれている ⇒ ペースメーカーなどから離して使用

### CHECK

#### 3

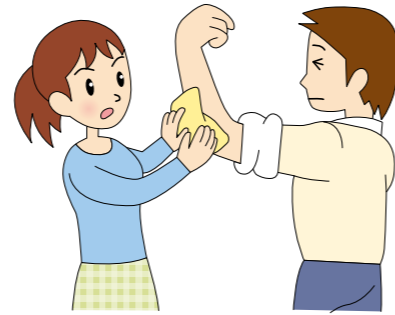
AEDは、市内の市民館や保育園、小中学校などの公共施設やコンビニエンスストアに設置されています。詳しくは、田原市消防本部のホームページで確認しましょう。



◎ 応急手当

1 止血法

- 傷口を止血する(直接圧迫止血法) / 傷口に、きれいなガーゼやハンカチなどを直接あて、強く圧迫します。
- できるだけゴム製の手袋やビニール袋を使用し、感染予防に努めます。
- 傷口を心臓より高い位置にすると、より止血効果があります。



2 やけど

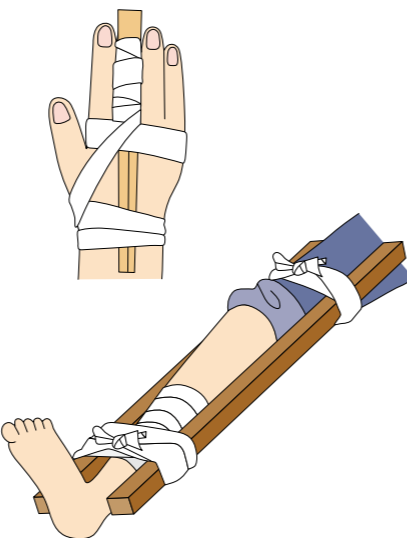
- やけどした部分をできるだけ早く流水で冷やします。(痛みや熱を感じなくなるまで冷やします。)
- やけどした部分に直接強い水圧をかけないようにします。
- 衣服を着ている場合は、衣類の上から静かに水をかけます。皮膚と衣服が癒着している場合は、無理にはがさないようにします。



※水ぶくれができた場合は、水ぶくれが破れないように注意してください。破れると感染を起こし、治るのが遅れることがあります。  
 ※やけどの範囲が広い場合は、体が冷えすぎないように注意し、10分以上は冷やさないようにします。

3 骨折

- 動かないようにして、傷や出血の手当てをします。  
 (けがをした部分が不自然に変形している。はれて痛みが激しい。骨が突き出ている。) これらの場合は骨折の可能性が高い。
- 骨折している場合は、添え木を当て、骨折した部分の上と下の関節を固定します。(骨折の疑いがある場合も同様です。)  
 (添え木の代用となる身近なもの：板きれ・傘・わりばし・ダンボール・雑誌・座布団など)



**CHECK 3** 消防署では、救命講習(心肺蘇生法、止血法、三角巾の取り扱いなど)を実施しています。グループでの申込みも随時受付けています。

■ 問い合わせ先：田原市消防署 TEL.23-0119

災害時要配慮者(高齢者、身体的・知的な障害がある人、妊婦、外国人など)は、災害が発生した場合、情報把握、避難、生活の確保などの活動を、的確かつ迅速に行いにくい立場に置かれてしまいます。私たち一人ひとりがお互いに協力し合い、地域が一丸となって積極的な支援を行えるよう心がけましょう。

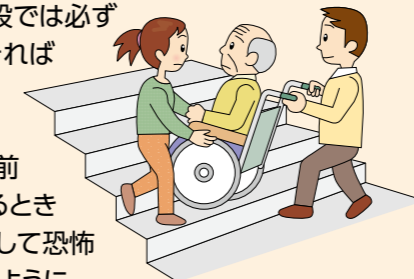
高齢者・傷病者

- 援助が必要なときは、複数の人で対応する。
- 急を要するときは、ひもなどで背負い、安全な場所まで避難する。



肢体の不自由な人

- 車椅子は、階段では必ず2人以上、できれば3~4人で援助する。
- 上がるときは前向きに、下がる時は後ろ向きにして恐怖感を与えないように。
- とっさの脱出、避難の際に要配慮者1人に対して支援者が2人以上いるとは限らない。ひもなどで背負い、支援者の両手は自由がきくようにする。



要支援者のためのスカーフ

- 支援を必要としている人支援ができる人を外見から分かりやすくするためのスカーフを身につけてもらう。



耳が不自由な人

- 話をするときはまっすぐ顔を向け、口はなるべく大きくゆっくり動かして話す。
- 筆談(筆記法)は手のひらに指先で文字を書くやり方でもよい。



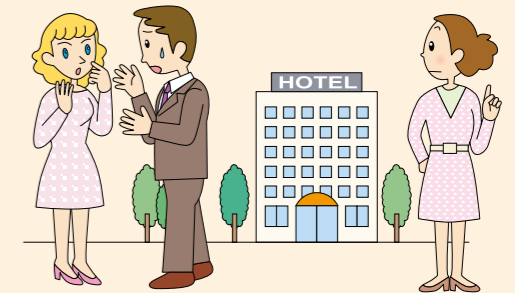
目の不自由な人

- 杖を持った方の手はとらない。
- ひじの少し上をつかんでもらい、ゆっくり歩き誘導する。
- 方向や目の前の位置などは、時計の文字盤の位置を想定して伝える。



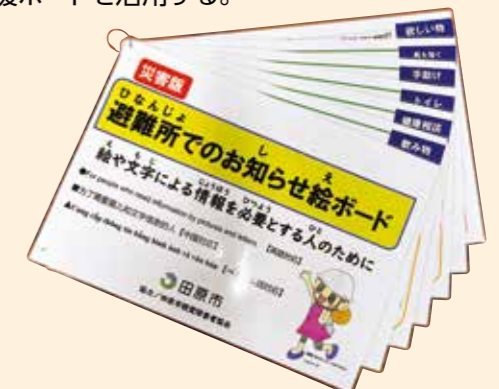
外国人・旅行者

- とっさのときは、身振り手振りで話しかけ、孤立させないようにする。
- 旅先では非常口の確認を。



コミュニケーション支援ボードについて

- 言葉が通じないなどコミュニケーションをとることが難しい場合は、避難所にあるコミュニケーション支援ボードを活用する。





帰宅困難者を支援します

イメージ図



市、鉄道事業者、学校、企業、県や周辺市町村との連携

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)の発表時や大地震の発生直後、鉄道やバスなどの公共交通機関が運行停止になった場合、オフィス街、駅ターミナル、繁華街や電車内などにいた大量の人々が足止めされ、帰宅困難者となります。県や市町村等が連携し、この人々が徒歩で帰るためのルートを設定し、そのルート上に徒歩帰宅支援ステーションが設置されています。

**徒歩帰宅支援ステーション**

水、食料の購入、トイレの使用、一時休憩所として利用でき、災害情報の入手などが可能で、誰もが

分かりやすく、利用しやすい場所で、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、郵便局などが指定されています。(支援ステーションに指定された施設などには **X** が掲示されています。)

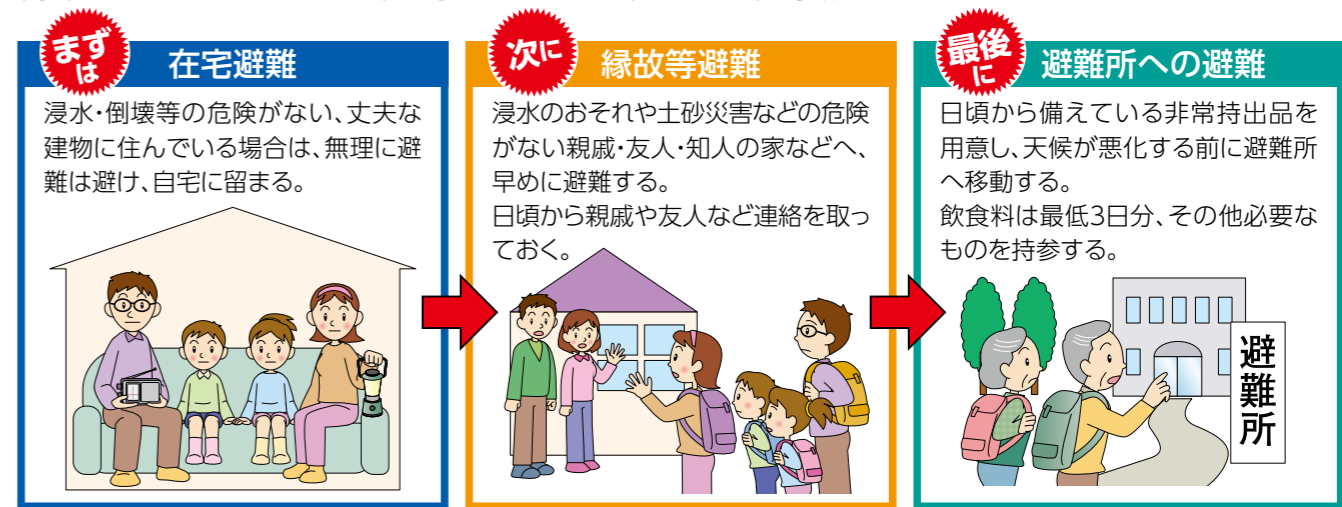
自分が帰宅困難者にならないために

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表されたら、児童・生徒はもちろん、遠方から通勤している方は、公共交通機関が動いている間に一刻も早く帰宅しましょう。

(愛知県資料から作成)

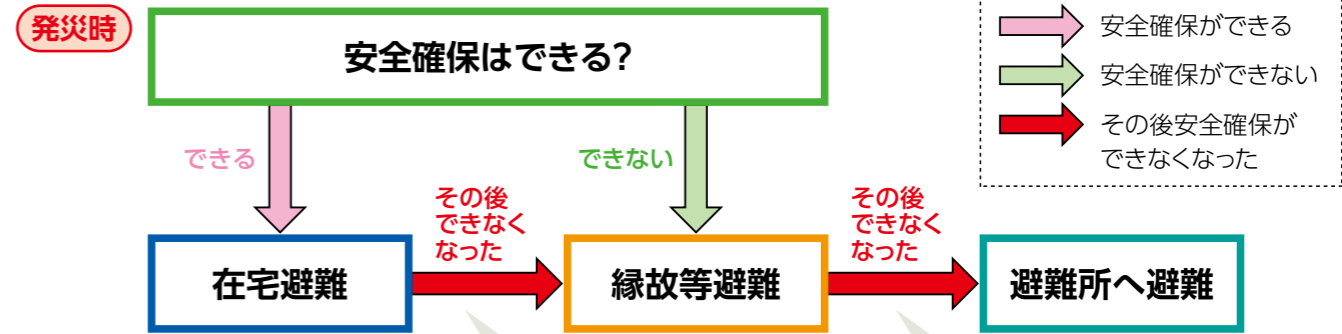
感染症流行期に災害が発生しないとは限りません。万が一流行期に災害が発生してしまった状況下での避難の仕方について考えてみましょう。

感染症は三密と言われる状況下では感染リスクが高まるとされています。多くの人が集まる避難所も、例外ではありません。自らの命を守るためにも感染リスクを極力減らして避難をしましょう。



フローチャートを参考に避難方法について考えてみましょう。

**平時** 自宅は災害警戒区域内など被災のリスクはある？  
防災マップ等で確認してみましょう！



矢印の凡例  
 安全確保ができる (pink arrow)  
 安全確保ができない (green arrow)  
 その後安全確保ができなくなった (red arrow)

親戚・友人・知人の家の安全確保がされている場合は、避難をさせてもらいましょう。そのためにも、日頃から連絡を取り合うことが大切です。

高齢者など、一人で避難することが大変な方が近所にいる場合は、一緒に避難をしましょう。



在宅避難とは？

避難所は人の目を常に感じながらと不自由を抱えたまま生活をします。そのため、心身の負担は大きく、体調を崩す原因になります。また、多くの人が集まる避難所は、感染リスクもあります。一方、自宅での避難は人の目が気にならないことや、密集することを避けられます。日頃から食料や備蓄品を用意しておくことで避難生活における心身の負担が小さくなるため、避難をする場合、まずは在宅避難を考えてみましょう。

田原 家の避難計画 **マイ・タイムライン** 作成日 RO年 O月 O日

		気象・避難情報	避難の準備・行動	避難のポイント
平常時	大雨発生の可能性	早期注意情報	避難準備を始める	事前に確認しておくこと
		警戒レベル1	<input checked="" type="checkbox"/> 自宅周辺を防災マップやお役立ちガイドなどで災害リスクがないか確認 <input checked="" type="checkbox"/> 台風の進行方向や前線をチェック 避難情報の収集手段の確認 <input checked="" type="checkbox"/> 安心安全ほっとメール <input checked="" type="checkbox"/> 防災無線	<input checked="" type="checkbox"/> 避難場所・避難経路 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の予定 <input checked="" type="checkbox"/> 非常持出品の中身 <input checked="" type="checkbox"/> スムーズに避難できるよう周囲の片付け <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話や充電器の充電
大雨のおそれ	重大災害の兆候	大雨注意報・洪水注意報 氾濫注意情報	<input checked="" type="checkbox"/> 防災無線 <input checked="" type="checkbox"/> テレビ <input checked="" type="checkbox"/> インターネット	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		警戒レベル2	避難先・避難方法の確認 避難先①: 田原 太郎 家 避難先②: 田原 花子 家 避難所: 田原市役所 避難方法: 徒歩 避難に要する時間: 約10分	避難する時の注意点  <input checked="" type="checkbox"/> 避難先の状況を確認 <input checked="" type="checkbox"/> 戸締り、ガスの元栓を開める、ブレーカーを切る <input checked="" type="checkbox"/> 雨が強くなる前に避難
避難開始時	災害発生のおそれ	大雨・洪水警報等 氾濫警戒情報	警戒レベル3 高齢者等避難	我が家の避難開始のタイミングは? 高齢の方や障がいがある方、妊娠中の方などがある <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		警戒レベル3 高齢者等避難	高齢者等避難 高齢の方や障がいのある方、妊娠中の方など避難に時間を要する方は避難をはじめましょう。	警戒レベル3 発令で避難
災害のおそれの高まり		土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	警戒レベル4 避難指示	<input type="checkbox"/> いいえ 警戒レベル4 発令で避難
		警戒レベル4 避難指示	全員避難 家族全員が事前に確認した避難場所へ速やかに避難しましょう。	避難対象区域の方は、この時点までに全員避難!
災害発生	災害発生	大雨特別警報(土砂災害) 氾濫発生情報	警戒レベル5 緊急安全確保	命を守る行動を! 避難が完了していない場合は、直ちに避難しましょう。 ※外へ避難するほうが危険な場合は、建物内の安全な場所(2階など)へ避難しましょう。
		警戒レベル5 緊急安全確保	命を守る行動を! 避難が完了していない場合は、直ちに避難しましょう。 ※外へ避難するほうが危険な場合は、建物内の安全な場所(2階など)へ避難しましょう。	自分の状況を家族や親族等に連絡をしましょう。 災害時は連絡が取りづらくなる可能性があります。そんなときは、【災害用伝言ダイヤル】を活用しましょう。(P.29に紹介しています。)

家の避難計画 **マイ・タイムライン** 作成日 年 月 日

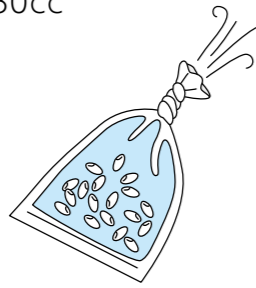
		気象・避難情報	避難の準備・行動	避難のポイント
平常時	大雨発生の可能性	早期注意情報	避難準備を始める	事前に確認しておくこと
		警戒レベル1	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 避難情報の収集手段の確認 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
大雨のおそれ	重大災害の兆候	大雨注意報・洪水注意報 氾濫注意情報	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		警戒レベル2	避難先・避難方法の確認 避難先①: 避難先②: 避難所: 避難方法: 避難に要する時間:	避難する時の注意点  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
避難開始時	災害発生のおそれ	大雨・洪水警報等 氾濫警戒情報	警戒レベル3 高齢者等避難	我が家の避難開始のタイミングは? 高齢の方や障がいがある方、妊娠中の方などがある <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
		警戒レベル3 高齢者等避難	高齢者等避難 高齢の方や障がいのある方、妊娠中の方など避難に時間を要する方は避難をはじめましょう。	警戒レベル3 発令で避難
災害のおそれの高まり		土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	警戒レベル4 避難指示	<input type="checkbox"/> いいえ 警戒レベル4 発令で避難
		警戒レベル4 避難指示	全員避難 家族全員が事前に確認した避難場所へ速やかに避難しましょう。	避難対象区域の方は、この時点までに全員避難!
災害発生	災害発生	大雨特別警報(土砂災害) 氾濫発生情報	警戒レベル5 緊急安全確保	命を守る行動を! 避難が完了していない場合は、直ちに避難しましょう。 ※外へ避難するほうが危険な場合は、建物内の安全な場所(2階など)へ避難しましょう。
		警戒レベル5 緊急安全確保	命を守る行動を! 避難が完了していない場合は、直ちに避難しましょう。 ※外へ避難するほうが危険な場合は、建物内の安全な場所(2階など)へ避難しましょう。	自分の状況を家族や親族等に連絡をしましょう。 災害時は連絡が取りづらくなる可能性があります。そんなときは、【災害用伝言ダイヤル】を活用しましょう。(P.29に紹介しています。)



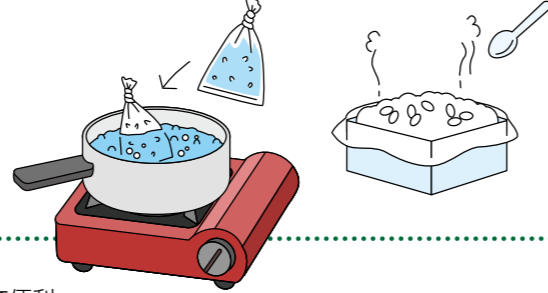
## パックフッキングであたたかい食事&水の節約

① ポリ袋に、米1合と水180ccを入れる(2人分)  
※洗米しなくても大丈夫

② ポリ袋の空気を抜き、ねじりながら先の方で口をしぼる



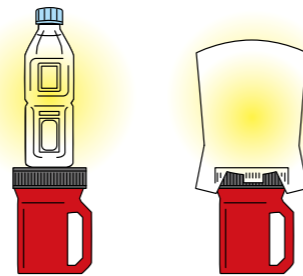
③ 熱いお湯の中に②を入れて、沸騰後30分茹でて完成



※ポリ袋は耐熱性のものを使う(高密度ポリエチレン)  
※袋を開けて食器代わりにしながら食べることができるので衛生的で便利  
※食品ラップを食器に敷いて使えば、食器を洗わずにすむので、水が節約できる  
※ホットケーキミックスを使った蒸しパンや肉じゃがなど、いろいろなメニューを作ることができる

## 停電時、ペットボトルと懐中電灯でランタンを作る方法

立てた懐中電灯の上に水が入ったペットボトルを乗せるだけであつという間に明るく光が広がります。  
レジ袋を使って作ることもできます。



## 新型コロナウイルス対策

### ご家庭にある洗剤を使って身近な物の消毒をしましょう。

新型コロナウイルスに効果が確認された界面活性剤が使われている洗剤のリストをNITEウェブサイトにて公開しています(随時更新)  
<https://www.nite.go.jp/information/osirasedetergentlist.html>

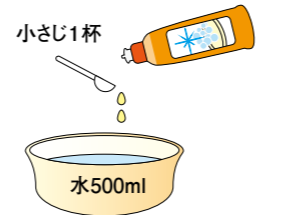


【住宅・家具用洗剤】が手元にない場合には?

### 台所用洗剤を使って代用することもできます。

① 洗剤うすめ液を作る

たらいや洗面器などに500mlの水をはり、台所用洗剤\*を小さじ1杯(5g)入れて軽く混ぜ合わせる。  
(\*食器洗い機用洗剤ではなく、スポンジなどにつけて使う洗剤です。有効な界面活性剤が使われているかも確認しましょう。)



② 対象の表面を拭き取る

キッチンペーパーや布などに、(1)で作った溶液をしみこませて、液が垂れないように絞る。汚れやウイルスを広げないように、一方向にしっかり拭き取るようにする。



③ 水拭きする

洗剤で拭いてから5分程度たったら、キッチンペーパーや布などで水拭きして洗剤を拭き取る。特に、プラスチック部分は放置すると傷むことがあるので必ず水拭きする。

④ 乾拭きする

最後にキッチンペーパーなどで乾拭きする。

#### 安全上の注意

- 手指・皮膚には使用しないでください。
- スプレーボトルでの噴霧は行わないでください。

【住宅・家具用洗剤】を使用する場合は、製品に記載された使用方法どおりに使用してください。

## 避難所利用者登録票への事前記入・指定避難所等への持参

指定避難所の受付における避難者同士の混雑を避けるため、受付時に記入する「避難所利用者登録票」へ可能な範囲で事前記入しておき、指定避難所へ持参しましょう。  
(令和3年3月1日時点)

様式1 (避難所利用者登録票)

新型コロナウイルス感染症対応/様式

ひなんじょりょうしゃとうろくひょう 避難所利用者登録票		避難所名	受付No
記入日	年 月 日 ( )	記入者	
住所	〒 -	自治会・地区	
連絡先	( ) -	滞在希望場所 <input type="checkbox"/> 避難所 <input type="checkbox"/> テント(避難所敷地内に設置) <input type="checkbox"/> 車両(避難所敷地内に駐車) <input type="checkbox"/> 避難所以外の場所(自宅/他( ))	
その他連絡先(親戚等)	( ) -		
ペットの状況	<input type="checkbox"/> 飼っていない <input type="checkbox"/> 飼っている(→右欄へ)	種類(頭数)	<input type="checkbox"/> 同伴希望(ペット台帳に記入) <input type="checkbox"/> 置き去り <input type="checkbox"/> 行方不明
自家用車(避難所に駐車する場合)	車種	色	ナンバー
避難所を利用する人(避難所以外の場所に滞在する人も記入)		体温・健康状態(症状をチェック)	
氏名	生年月日(年齢)	性別	必ず確認 安否確認への対応*
ふりがな	年 月 日 ( 歳)		公開 非公開
ふりがな	年 月 日 ( 歳)		公開 非公開
ふりがな	年 月 日 ( 歳)		公開 非公開
ふりがな	年 月 日 ( 歳)		公開 非公開
ふりがな	年 月 日 ( 歳)		公開 非公開
現在、新型コロナウイルス感染症の軽症者等(自宅療養者・濃厚接触者)ですか?			はい・いいえ
けがや病気・障害・アレルギーの有無、妊娠中、使用できる言語など、特に配慮が必要なこと			

- ・世帯(家族)ごとに記入して、総合受付に提出してください。
- ・ご記入いただいた情報は、食料や物資の配給や健康管理などの支援を行うため、避難所運営のために必要最低限の範囲で共有します。また田原市災害対策本部にも提供し、被災者支援のために田原市が作成する「被災者台帳」にも利用します。
- ※安否確認の問い合わせがあった場合に、住所(〇〇町〇〇まで)・氏名(ふりがな)を公開してもよいか個人ごとに必ず確認してください。
- ※混雑を避けるため、受付時には必要最低限の項目(黄色箇所)の記載だけで可。(別途、全ての項目に記載してもらい、総合受付に提出してもらうこと)

# 緊急時のわが家の情報

## ■家族のこと（世帯主に○）

名 前	電話番号	生年月日	血液型	病気・アレルギーなど

## ■緊急連絡先（頼れるご近所など）

相手の名前	電話番号	住 所	メールアドレス

## ■親せきや知人などの連絡先

相手の名前	電話番号	住 所	メールアドレス

## ■ライフラインの連絡先（電気・ガス・水道・病院など）

項 目	電話番号

## ■いざというときの連絡先

事故と犯罪	110	火災・救急	119	海上の事故	118
田原市役所(代表)	☎0531-22-1111		防災対策課		☎0531-23-3548

令和3年3月発行

## 田原市防災局防災対策課

〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1

TEL 0531-23-3548 FAX 0531-23-0180

saigai@city.tahara.aichi.jp

制作・印刷／共和印刷株式会社